

4・5歳児の幼児教育・保育・療育の無償化に関する  
アンケート調査

結果報告書

令和2（2020）年1月

門 真 市



# 目 次

I	調査の概要	1
1.	調査の目的	1
2.	調査方法	1
II	調査結果（単純集計）	2
1.	回答者の属性	2
(1)	利用施設	2
(2)	家族構成	3
(3)	年齢構成	4
(4)	子どもの年齢・人数	5
(5)	世帯の年収（平成28年中）	6
2.	無償化について	7
(1)	生活への影響	7
(2)	更なる出産への動機づけ	8
(3)	定住への動機づけ	9
(4)	無償化に対する考え方	10
III	調査結果の分析（クロス集計）	11
1.	集計項目及び分類項目	11
(1)	集計項目	11
(2)	分類項目	11
2.	クロス集計の手法	12
【分類1】	世帯年収別	13
【分類2】	補助形態別	17
【分類3】	利用形態別	21
【分類4】	家族構成別	25
【分類5】	保護者年齢別	29
【分類6】	子ども人数別	33
【分類7】	きょうだい状況別	37
IV	自由意見	42
1.	分類	42
2.	自由意見	43
V	調査票	53



# I 調査の概要

## 1. 調査の目的

門真市では、保護者の負担を軽減し、すべての就学前の4・5歳児が等しく質の高い幼児教育・保育・療育を受けることができる環境を整え、円滑に小学校教育（義務教育）につなげることを目的に、平成29年4月から5歳児、平成30年4月から4歳児の幼児教育・保育・療育の利用者負担（保育料）の無償化を開始しました。

この取り組みについて、利用者の意見等を把握し、今後の施策に活用するため、アンケート調査を実施するものです。

## 2. 調査方法

**調査対象**：調査時点において無償化の対象である児童のうち、門真市内の幼稚園、保育所、認定こども園及び児童発達支援事業を利用している児童の保護者

**配布・回収**：利用施設を通じ配布・回収（私立児童発達支援施設利用者のみ郵送）

**調査期間**：平成31（2019）年1月16日から平成31（2019）年1月28日

**対象者数**：1,564人

**有効回答数**：957件（有効回答率：61.2%）

## 3. 調査結果の表示方法

- ・ 回答は各質問の回答者数を基数とした百分率（%）で示しています。また、単純集計では小数点第2位以下を、クロス集計では小数点第1位以下を四捨五入しているため、内訳の合計が100%にならない場合があります。
- ・ 複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100%を超える場合があります。

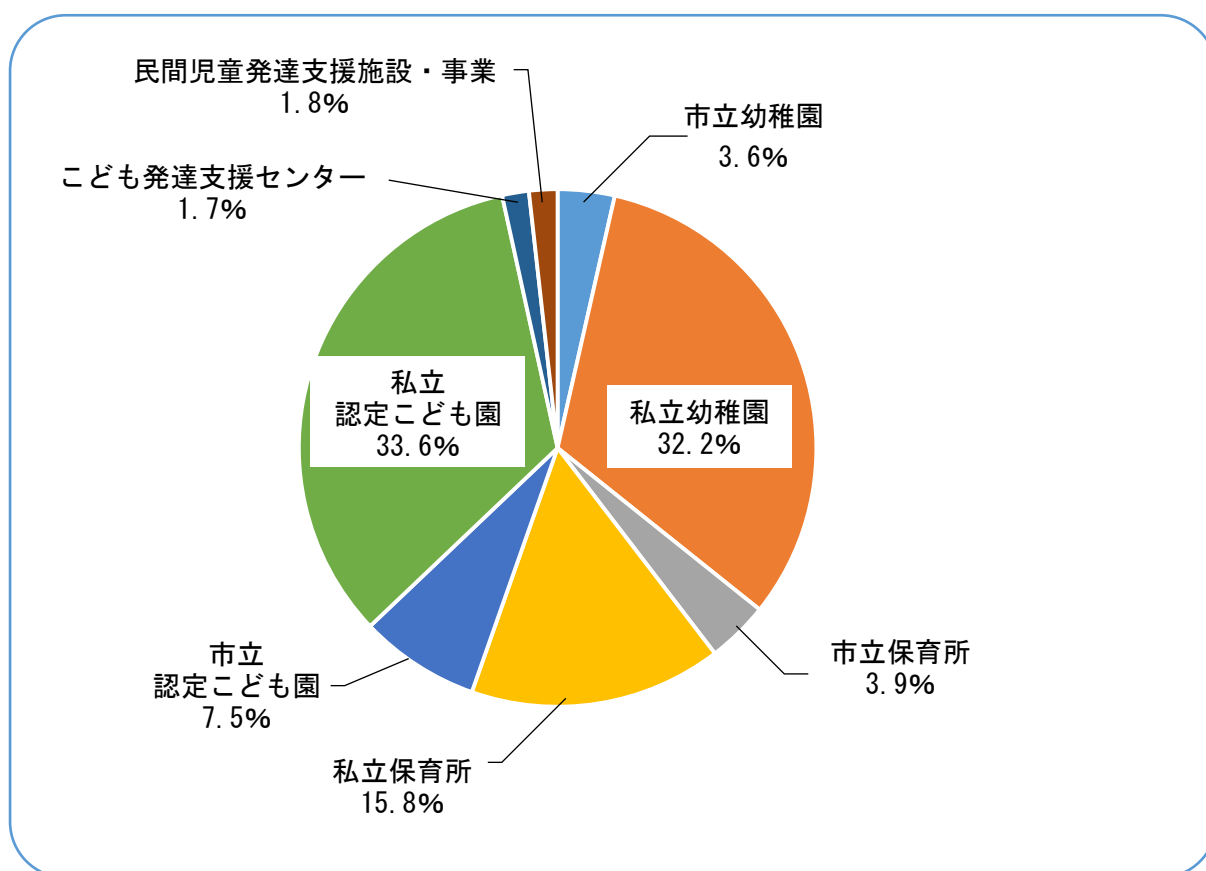
## Ⅱ 調査結果（単純集計）

### 1. 回答者の属性

#### （1）利用施設

Q 1. 4・5歳児無償化の対象となっているお子様の利用している施設・事業所をお選びください。

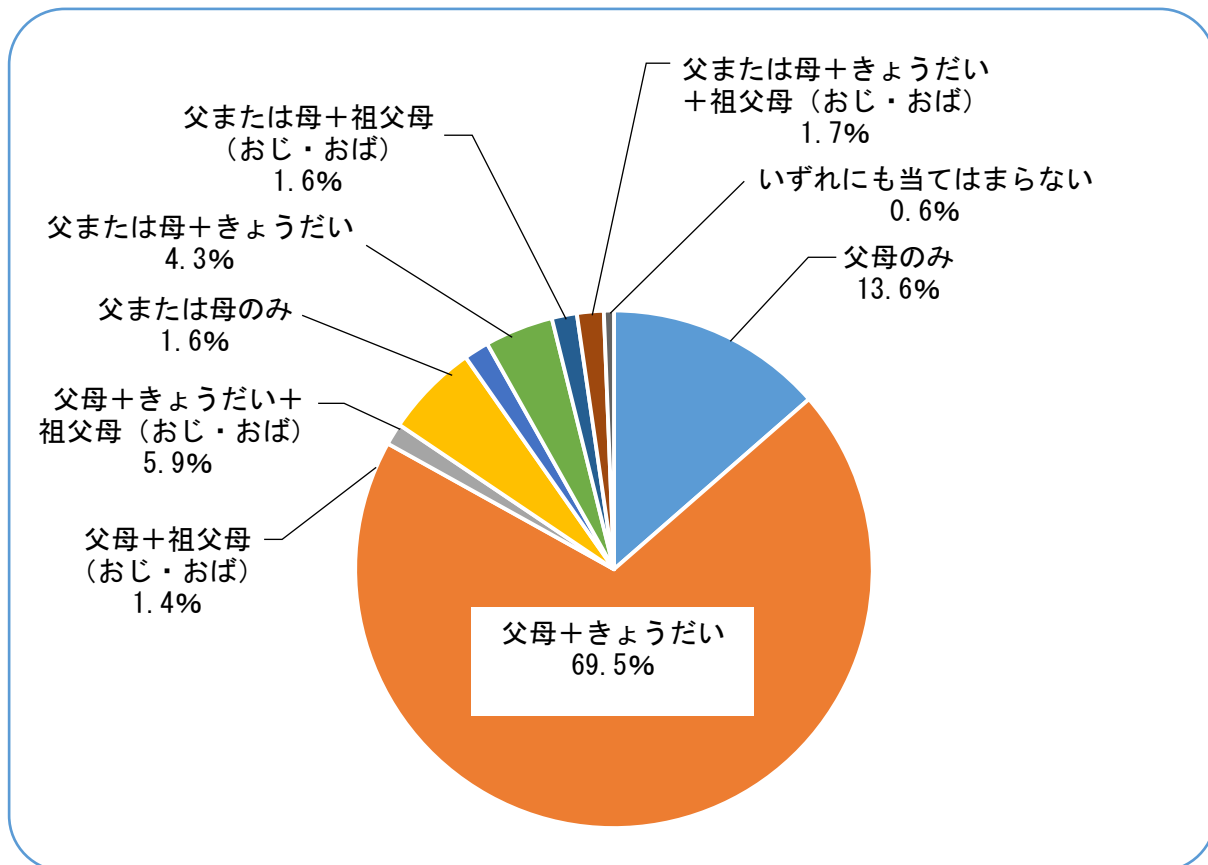
回答者の子どもの利用している施設・事業所については、「私立認定こども園」が33.6%で最も多く、次いで「私立幼稚園」が32.2%、「私立保育所」15.8%と続いています。



## (2) 家族構成

Q2. 4・5歳児無償化の対象となっているお子様から見た家族構成（同居者）について、当てはまるものを全てお選びください。

無償化の対象となっている子どもから見た家族構成は「父母ときょうだい」が69.5%で最も多く、次いで「父母のみ」が13.6%となっており、これらで全体の8割以上を占めています。

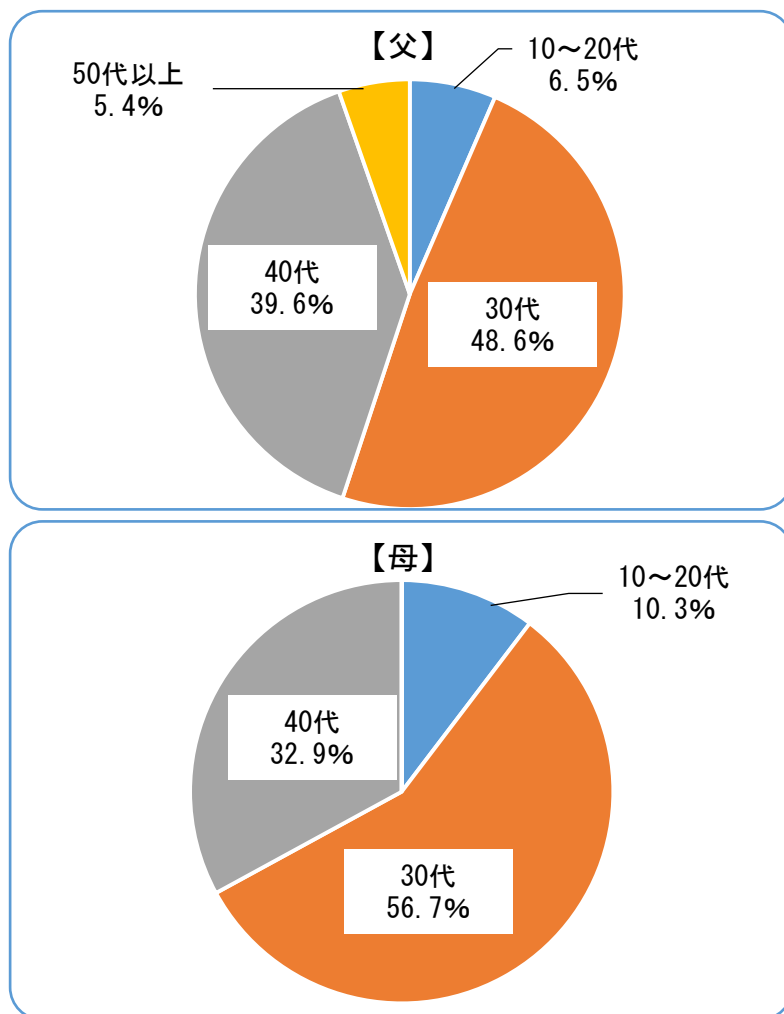


### (3) 年齢構成

Q3. 保護者の年齢をお選びください。※父母以外の場合は「その他」でお選びください。

保護者のうち、父の年齢構成は「30代」が48.6%と約半数を占めており、次いで「40代」が39.6%、「10～20代」が6.5%と続いています。

母の年齢構成も父と同様に「30代」が56.7%と過半数を占めており、次いで「40代」が32.9%、「10～20代」が10.3%と続いています。父の年齢構成よりも若干若い年齢の割合が多くなっています。





#### (4) 子どもの年齢・人数

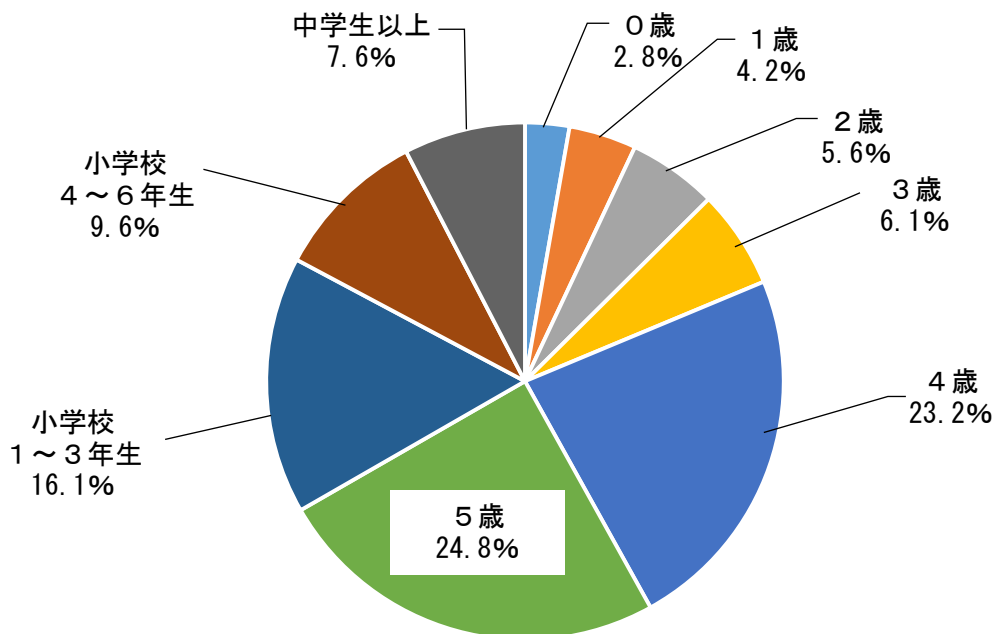
Q 4. すべてのお子様の年齢・人数について、お答えください。(同一世帯、別居を含む)

※平成30年4月1日時点

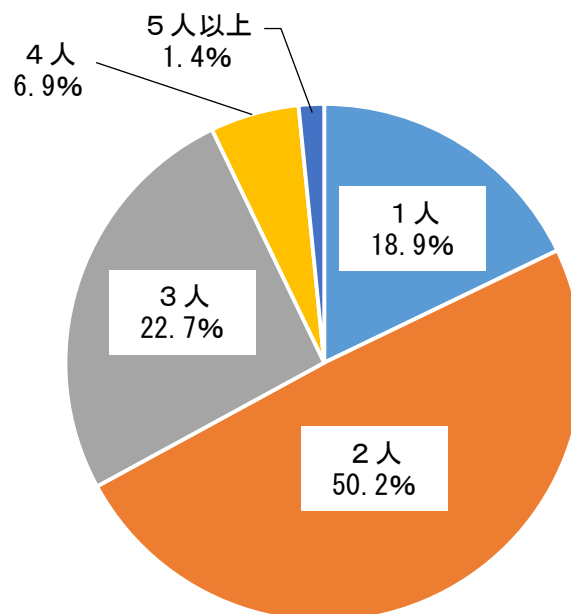
家族を構成するすべての子どもの年齢は、アンケートを実施した無償化対象の「4歳」23.2%、「5歳」24.8%を除くと「小学校1～3年生」が16.1%と最も多く、次いで「小学校4～6年生」が9.6%、「中学生以上」が7.6%と続いています。

また、子どもの人数は、「2人」が50.2%と過半数となっており、次いで「3人」が22.7%、「1人」が18.9%と続いています。

【子の年齢】



【子の人数】

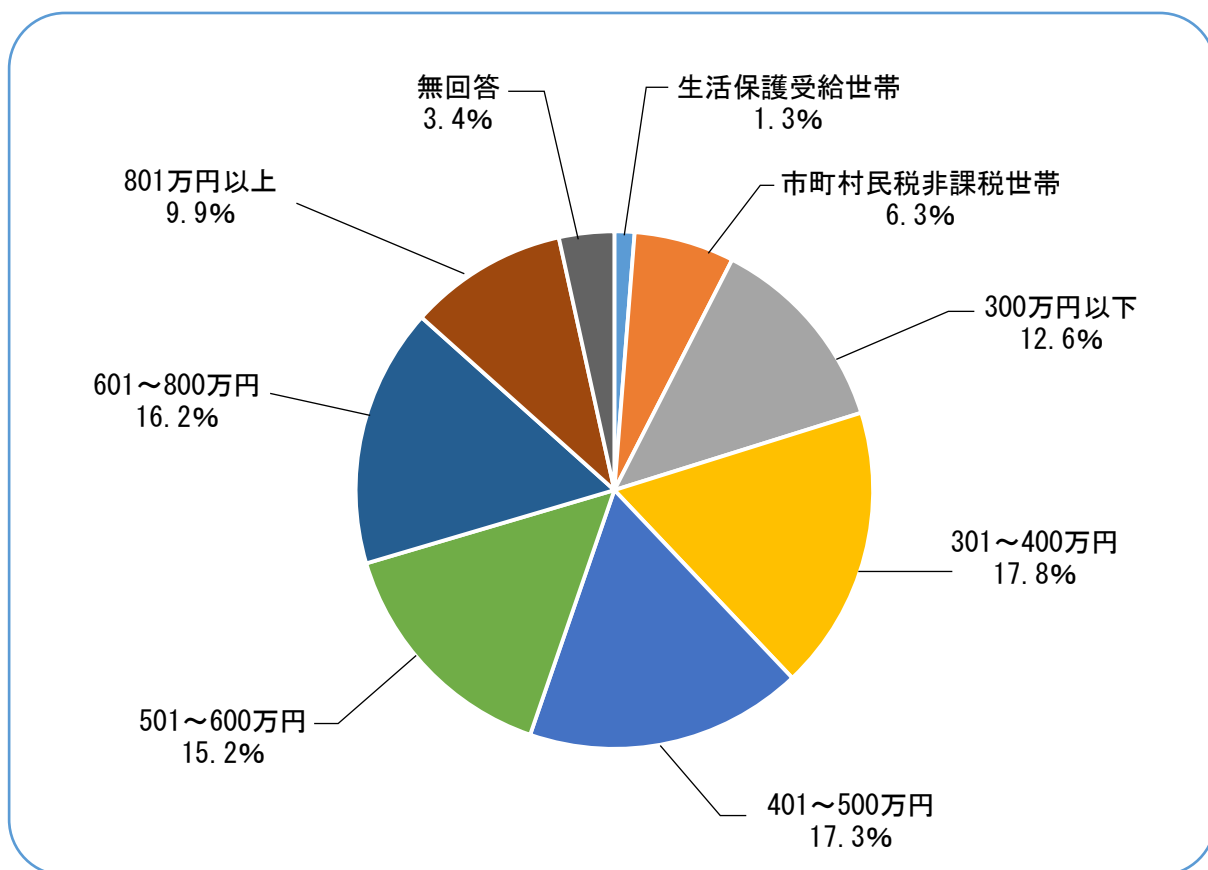


(5) 世帯の年収（平成29年中）

Q5. 世帯の年収（平成29年中）について、お選びください。

※父母の年収の合算。配偶者控除があれば扶養している父、または母のみ。父母の年収の合算が206万円未満で、同居する祖父または祖母のいずれかの年収が300万円以上であれば、多い方の年収。ひとり親の場合は、その年収。ひとり親の年収が103万円未満で、同居する祖父または祖母のいずれかの年収が300万円以上であれば、多い方の年収。

世帯の年収は、「301～400万円」が17.8%と最も多く、次いで「401～500万円」が17.3%、「601～800万円」が16.2%、「501～600万円」が15.2%と続いています。

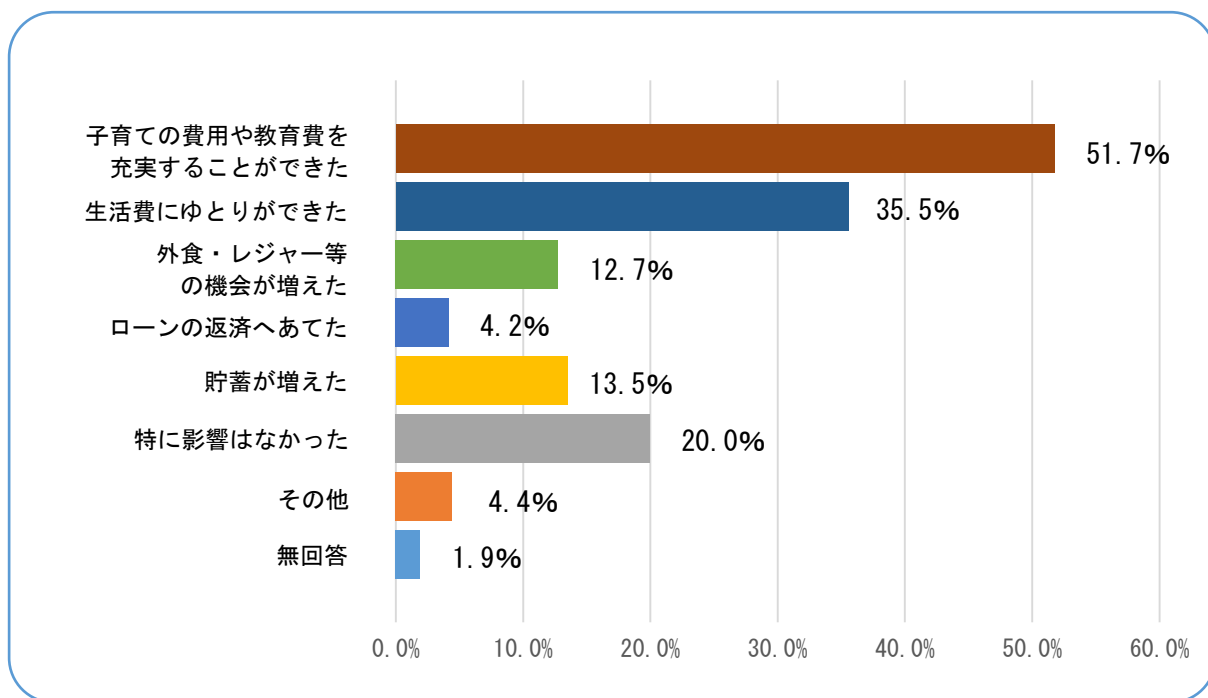


## 2. 無償化について

### (1) 生活への影響

Q6. 4・5歳児無償化によって、生活に影響がありましたか。当てはまるものをお選びください。(複数回答可)

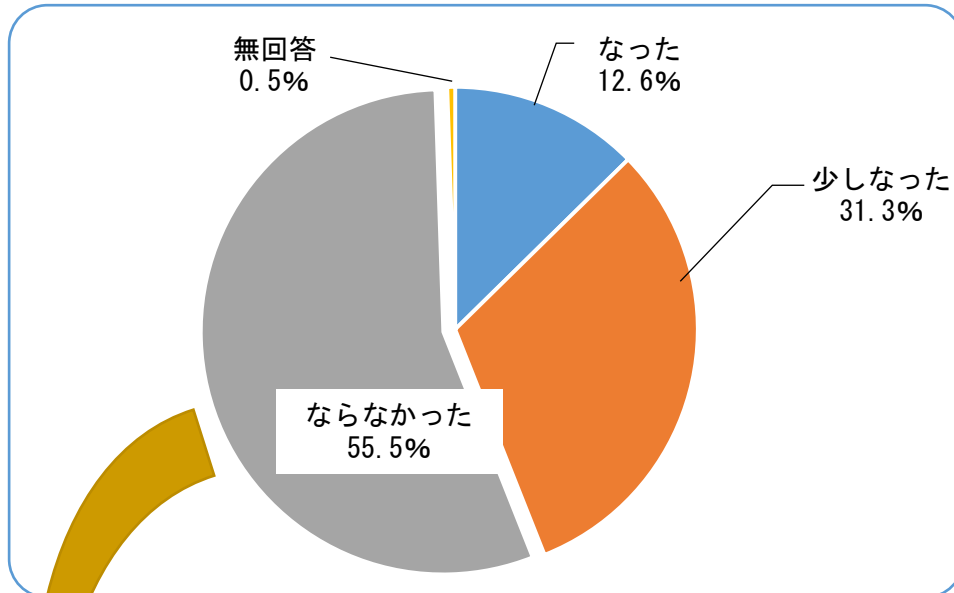
4・5歳児無償化による生活への影響は、「子育ての費用や教育費を充実することができた」が51.7%と最も多く、次いで「生活費にゆとりができた」が35.5%となっています。



## (2) 更なる出産への動機づけ

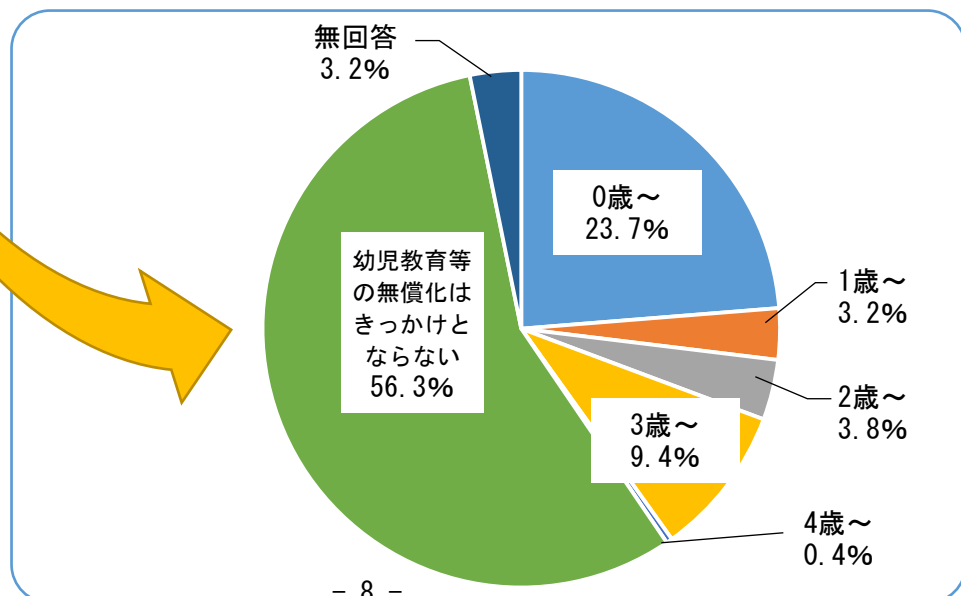
Q7. 4・5歳児無償化によって、子どもをさらに持ちたいと考えるきっかけとなりましたか。

5歳児無償化による更なる出産への動機づけの割合は、子どもをさらに持ちたいと考えるきっかけと「ならなかった」が55.5%と最も多く、「なった」の12.6%と「少しなった」の31.3%を合わせた43.9%を上回っています。



※「ならなかった」を選んだ方は何歳からの無償化できっかけとなると考えますか。

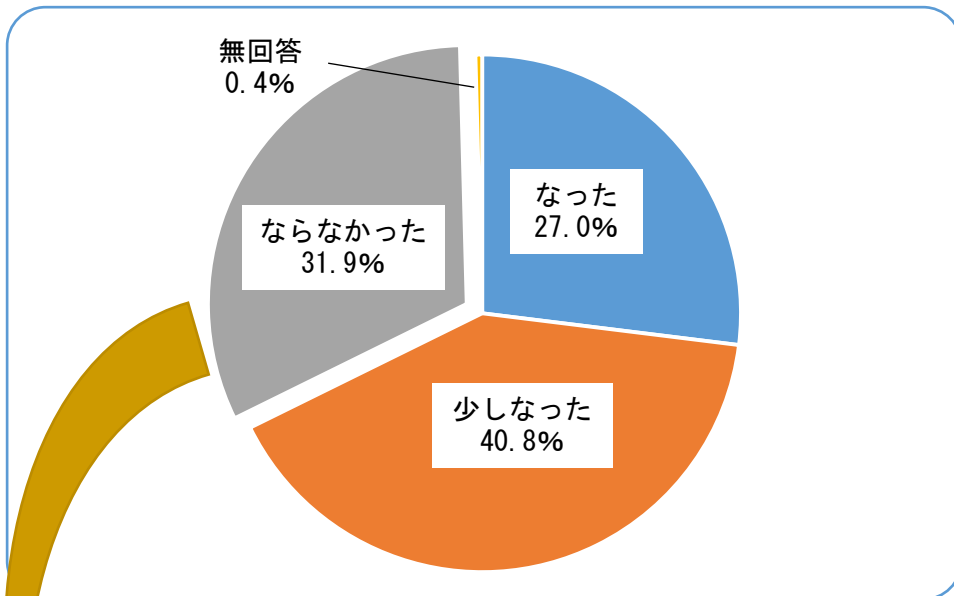
「ならなかった」と回答された55.5%の方に、何歳からの無償化できっかけになるかを聞いたところ、「幼児教育等の無償化はきっかけとならない」が56.3%と最も多くなっていますが、「0歳から」が23.7%、「3歳から」が9.4%と続いており、いずれかの年齢で無償化されると「きっかけとなる」と考えている割合は40.5%となっています。



### (3) 定住への動機づけ

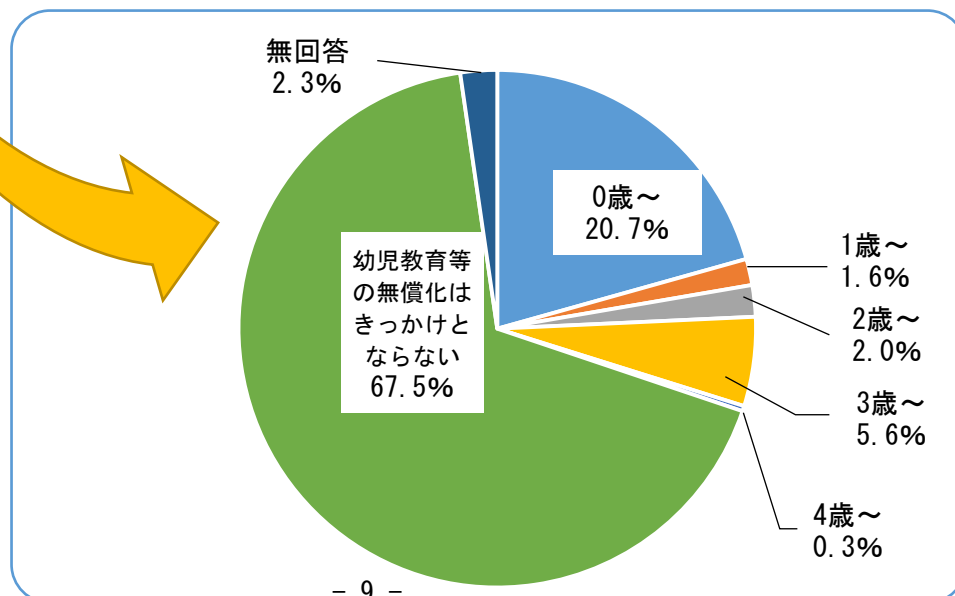
Q8. 4・5歳児無償化によって、門真市に住み続けたいと考えるきっかけとなりましたか。

4・5歳児無償化による定住への動機づけの割合は、門真市に住み続けたいと考えるきっかけと「少しなった」の40.8%が最も多く、「なった」の27.0%を合わせると67.8%と過半数を超えています。



※「ならなかった」を選んだ方は何歳からの無償化できっかけと考えますか。

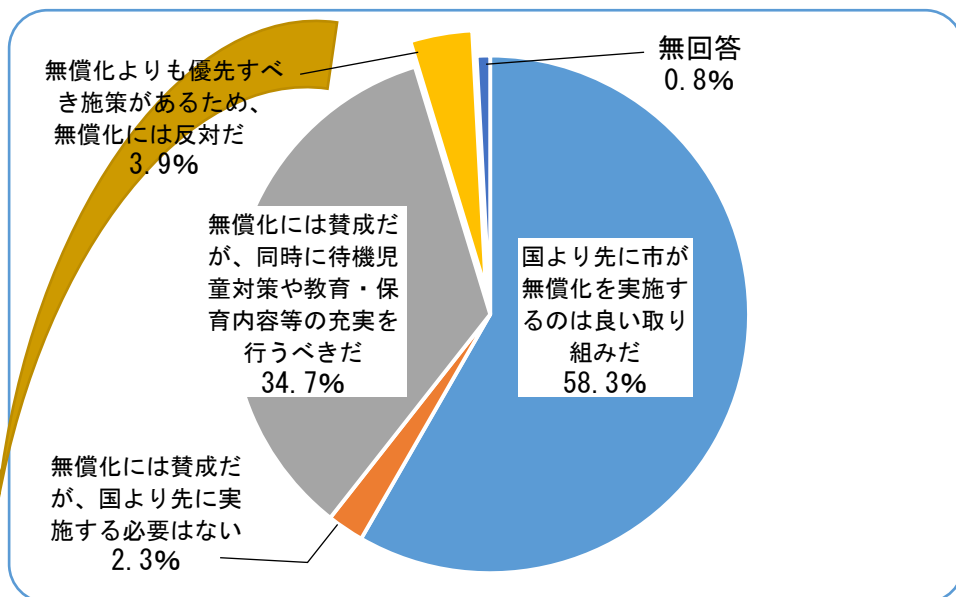
「ならなかった」と回答された31.9%の方に、何歳からの無償化できっかけになるかを聞いたところ、「幼児教育等の無償化はきっかけとならない」が67.5%と最も多くなっており、次いで「0歳から」が20.7%、「3歳から」が5.6%と続いており、いずれかの年齢で無償化されると「きっかけとなる」と考えている割合は30.2%となっています。



#### (4) 無償化に対する考え方

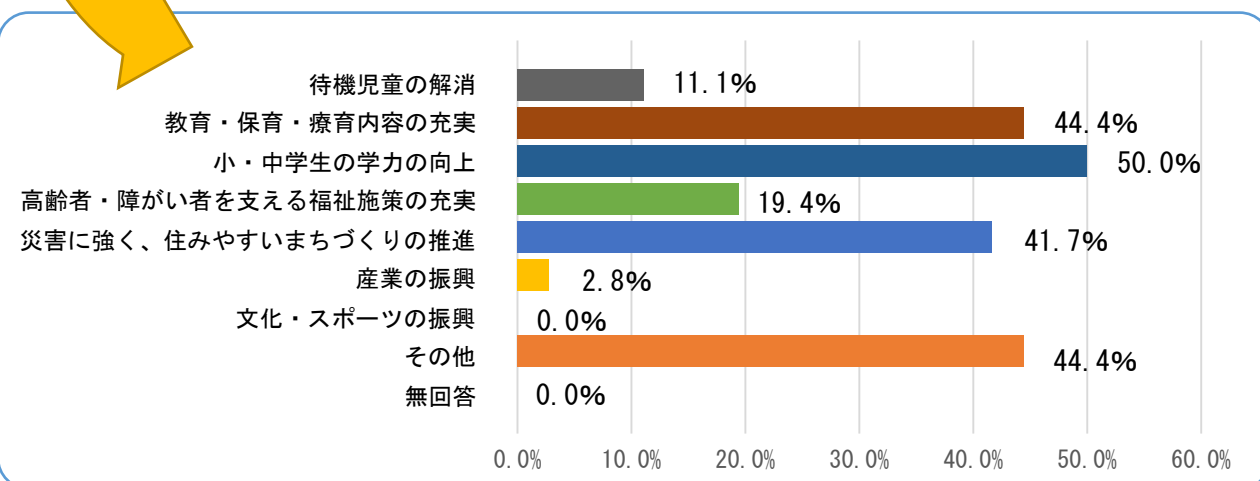
Q9. 現在、国では幼児教育等の無償化を3歳児以上及び住民税非課税世帯の3歳児未満を対象として、2019年度から一部をスタートし、2020年度から全面的に実施するスケジュールが示されていますが、門真市が先行して進めている無償化に対するあなたの考えとして、一番近いものをお選びください。

本市の無償化に対する考え方は、「国より先に市が無償化を実施するのは良い取り組みだ」が58.3%と過半数を占めており、次いで「無償化には賛成だが、同時に待機児童対策や教育・保育内容等の充実を行うべきだ」が34.7%となっており、これらで全体の約9割を占めています。



※「無償化よりも優先すべき施策があるため、無償化には反対だ」を選んだ方は具体的な内容をお選びください。(複数回答可)

「無償化には反対」と回答された3.9%の方に、具体的な優先すべき施策を聞いたところ、「小・中学生の学力の向上」が50.0%と最も多くなっており、次いで「教育・保育・療育内容の充実」「その他」が44.4%、「災害に強く、住みやすいまちづくりの推進」が41.7%と続いています。



### Ⅲ 調査結果の分析（クロス集計）

本アンケート調査結果を分析するに当たり、事業効果を測るための質問を「集計項目」、また、回答者の属性に関する質問を「分類項目」とし、各集計項目について各分類項目によりクロス集計を実施しました。

#### 1. 集計項目及び分類項目

##### （1）集計項目

- 【項目1】生活への影響（Q6）
- 【項目2】更なる出産への動機づけ（Q7）
- 【項目2-2】更なる出産への動機づけとなる対象年齢（Q7-2）
- 【項目3】定住への動機づけ（Q8）
- 【項目3-2】定住への動機づけとなる対象年齢（Q8-2）
- 【項目4】無償化に対する考え方（Q9）
- 【項目4-2】無償化より優先すべき施策（Q9-2）

##### （2）分類項目

###### 【分類1】世帯年収別（Q5）

- ①生活保護受給世帯＋市町村民税非課税世帯
- ②年収400万円以下
- ③年収401～600万円以下
- ④年収601万円以上

###### 【分類2】補助形態別（Q1）

- ①事前補助  
(市立幼稚園＋市立保育所＋私立保育所＋認定こども園＋こども発達支援センター)
- ②事後補助  
(私立幼稚園＋民間児童発達支援施設・事業)

###### 【分類3】利用形態別（Q1）

- ①幼児教育利用者（市立幼稚園＋私立幼稚園）
- ②保育利用者（市立保育所＋私立保育所＋認定こども園）
- ③療育利用者（こども発達支援センター＋民間児童発達支援施設・事業）

###### 【分類4】家族構成別（Q2）

- ①核家族（ひとり親家庭除く）  
(父＋母（＋兄弟・姉妹）)
- ②核家族（ひとり親家庭）  
(父又は母（＋兄弟・姉妹）)

③その他の世帯

【分類5】保護者年齢別（Q3）

①10～20代

②30代

③40代

④50代

※母の年齢で分類。（父子世帯は父の年齢で分類）

【分類6】子ども人数別（Q4）

①1人

②2人

③3人

④4人以上

【分類7】きょうだい状況別（Q4）

①きょうだいなし

②3歳未満の弟妹あり

③3歳未満の弟妹がおらず、3～4歳の弟妹あり

④弟妹がおらず、直近の兄姉が小学1～3年生

⑤弟妹がおらず、直近の兄姉が小学4～6年生

⑥弟妹がおらず、直近の兄姉が中学生以上

## 2. クロス集計の手法

- (1) 項目1～7の各集計項目について、分類1～7の各分類項目によりクロス集計を実施しました。
- (2) クロス集計を実施するに当たっては、世帯年収別集計を除き、制度的に4・5歳児無償化の実施以前から無償である生活保護受給世帯及び市独自で無償としている市町村民税非課税世帯（新制度移行施設に限る。）を除いています。
- (3) 上記(2)と同様、補助形態別集計を除き、アンケート実施時点で利用者が無償化に伴う補助金を受け取っておらず、自己負担となる事後補助を除いています。



【分類1】世帯年収別 ※事後補助325人を除く

①生活保護受給世帯＋市町村民税非課税世帯	56人（9％）
②年収400万円以下	205人（33％）
③年収401～600万円以下	197人（31％）
④年収601万円以上	148人（23％）
⑤無回答	26人（4％）

計632人

（項目1）生活への影響

Q6. 4・5歳児無償化によって、生活に影響がありましたか。当てはまるものをお選びください。（複数回答可）

「特に影響はなかった」の割合は、生活保護受給世帯＋市町村民税非課税世帯で50%と高く、年収401～600万円、年収601万円以上で10%台と低くなりました。

※生活保護、非課税世帯は元の利用料が無償であるため影響は少ないが、保育料は年収に応じて高額になることから、高所得者ほど無償化による影響は大きい。

全世帯において「子育ての費用や教育費を充実することができた」「生活費にゆとりができた」割合が高くなりました。

世帯年収	生活保護受給世帯 市町村民税非課税世帯		年収400万円以下		年収401～600万円以下		年収601万円以上		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
子育ての費用や教育費を充実することができた	15	27%	91	44%	113	57%	95	64%	8	31%	322	51%
生活費にゆとりができた	13	23%	80	39%	87	44%	58	39%	9	35%	247	39%
外食・レジャー等の機会が増えた	3	5%	30	15%	34	17%	20	14%	1	4%	88	14%
ローンの返済へあてた	3	5%	12	6%	9	5%	2	1%	1	4%	27	4%
貯蓄が増えた	1	2%	18	9%	22	11%	29	20%	1	4%	71	11%
特に影響はなかった	28	50%	50	24%	26	13%	21	14%	10	38%	135	21%
その他	1	2%	4	2%	6	3%	1	1%	0	0%	12	2%
無回答	1	2%	6	3%	3	2%	0	0%	1	4%	11	2%
合計	65		291		300		226		31		913	

(項目2) 更なる出産への動機づけ

Q7. 4・5歳児無償化によって、子どもをさらに持ちたいと考えるきっかけとなりましたか。

「なった」「少しなった」をあわせた割合は、生活保護受給世帯と市町村民税非課税世帯を除く所得層において、45%以上となりました。

世帯年収	生活保護受給世帯 市町村民税非課税世帯		年収400万円以下		年収401～600万円以下		年収601万円以上		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
なった	4	7%	27	13%	23	12%	25	17%	0	0%	79	13%
少しなった	3	5%	70	34%	65	33%	45	30%	6	23%	189	30%
ならなかった	49	88%	104	51%	109	55%	78	53%	19	73%	359	56%
無回答	0	0%	4	2%	0	0%	0	0%	1	4%	5	1%
合計	56		205		197		148		26		632	

(項目2-2) 更なる出産への動機づけとなる対象年齢

※「ならなかった」を選んだ方は何歳からの無償化できっかけとなると考えますか。

Q7で「ならなかった」と答えた人の回答です。

全所得層において、「きっかけとならない」割合が最も高くなりました。

また、きっかけとなる年齢は、全所得層において「0歳～」が最も高くなりました。

世帯年収	生活保護受給世帯 市町村民税非課税世帯		年収400万円以下		年収401～600万円以下		年収601万円以上		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
0歳～	16	33%	32	31%	34	31%	16	21%	1	5%	99	27%
1歳～	1	2%	3	3%	3	3%	4	5%	2	11%	13	4%
2歳～	1	2%	7	6%	1	1%	3	4%	1	5%	13	4%
3歳～	1	2%	5	5%	11	10%	5	6%	2	11%	24	7%
4歳～	0	0%	1	1%	1	1%	0	0%	0	0%	2	1%
きっかけとならない	29	59%	54	52%	56	51%	45	58%	10	53%	194	53%
無回答	1	2%	2	2%	3	3%	5	6%	3	15%	14	4%
合計	49		104		109		78		19		359	

(項目3) 定住への動機づけ

Q8. 4・5歳児無償化によって、門真市に住み続けたいと考えるきっかけとなりましたか。

「なった」「少しなった」をあわせた割合は、生活保護受給世帯と市町村民税非課税世帯を除く所得層において、66%以上となりました。

世帯年収	生活保護受給世帯 市町村民税非課税世帯		年収400万円以下		年収401～600万円以下		年収601万円以上		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
なった	10	18%	64	31%	53	27%	43	29%	4	15%	174	28%
少しなった	23	41%	71	35%	80	41%	57	39%	15	58%	246	39%
ならなかった	22	39%	69	33%	64	32%	48	32%	6	23%	209	32%
無回答	1	2%	1	1%	0	0%	0	0%	1	4%	3	1%
合計	56		205		197		148		26		632	

(項目3-2) 定住への動機づけとなる対象年齢

※「ならなかった」を選んだ方は何歳からの無償化できっかけとなると考えますか。

Q8で「ならなかった」と答えた人の回答です。

全所得層において、「きっかけとならない」割合が最も高くなりました。

また、きっかけとなる年齢は、全所得層において「0歳～」が最も高くなりました。

世帯年収	生活保護受給世帯 市町村民税非課税世帯		年収400万円以下		年収401～600万円以下		年収601万円以上		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
0歳～	3	14%	20	29%	19	30%	9	19%	1	17%	52	25%
1歳～	0	0%	1	1%	1	2%	0	0%	0	0%	2	1%
2歳～	0	0%	4	6%	1	2%	0	0%	1	17%	6	3%
3歳～	1	5%	5	8%	2	3%	0	0%	0	0%	8	4%
4歳～	0	0%	1	1%	0	0%	0	0%	0	0%	1	1%
きっかけとならない	17	76%	35	51%	41	63%	38	79%	4	66%	135	64%
無回答	1	5%	3	4%	0	0%	1	2%	0	0%	5	2%
合計	22		69		64		48		6		209	

(項目4) 無償化に対する考え方

Q9. 現在、国では幼児教育等の無償化を3歳児以上及び住民税非課税世帯の3歳児未満を対象として、2019年度から一部をスタートし、2020年度から全面的に実施するスケジュールが示されていますが、門真市が先行して進めている無償化に対するあなたの考えとして、一番近いものをお選びください。

「良い取り組みだ」「賛成だ」「他の施策も同時に行うべきだ」をあわせた割合は、全所得層において93%以上となりました。

世帯年収	生活保護受給世帯 市町村住民税非課税世帯		年収400万円以下		年収401～600万円以下		年収601万円以上		無回答		合計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
国より先に市が無償化を実施するのは良い取り組みだ	33	59%	110	54%	118	60%	74	50%	14	54%	349	55%
無償化には賛成だが、国より先に実施する必要はない	0	0%	2	1%	3	2%	4	3%	0	0%	9	1%
無償化には賛成だが、同時に待機児童対策や教育・保育内容等の充実を行うべきだ	22	39%	88	43%	66	34%	59	40%	10	38%	245	39%
無償化よりも優先すべき施策があるため、無償化には反対だ	1	2%	3	1%	10	4%	11	7%	0	0%	25	4%
無回答	0	0%	2	1%	0	0%	0	0%	2	8%	4	1%
合計	56		205		197		148		26		632	

(項目4-2) 無償化より優先すべき施策

※「無償化よりも優先すべき施策があるため、無償化には反対だ」を選んだ方は具体的な内容をお選びください。(複数回答可)

Q9で「反対だ」と答えた人の回答です。「教育・保育・療育内容の充実」「小・中学生の学力の向上」「災害に強く、住みやすいまちづくりの推進」の割合が高くなっています。但し、母数が少数のため、割合が高めに反映されています。

世帯年収	生活保護受給世帯 市町村住民税非課税世帯		年収400万円以下		年収401～600万円以下		年収601万円以上		無回答		合計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
待機児童の解消	0	0%	0	0%	2	20%	2	18%	0	0%	4	16%
教育・保育・療育内容の充実	0	0%	1	33%	8	80%	4	36%	0	0%	13	52%
小・中学生の学力の向上	0	0%	0	0%	7	70%	7	64%	0	0%	14	56%
高齢者・障がい者を支える福祉政策の充実	0	0%	0	0%	5	50%	2	18%	0	0%	7	28%
災害に強く、住みやすいまちづくりの推進	0	0%	1	33%	6	60%	3	27%	0	0%	10	40%
産業の振興	0	0%	0	0%	1	10%	0	0%	0	0%	1	4%
文化・スポーツの振興	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
その他	1	100%	2	67%	3	30%	5	45%	0	0%	11	44%
無回答	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
合計	1		4		32		23		0		60	

【分類2】補助形態別 ※生活保護受給世帯及び市町村民税非課税世帯72人を除く

①事前補助 576人 (65%)

(市立幼稚園+市立保育所+私立保育所+認定こども園+こども発達支援センター)

②事後補助 309人 (35%)

(私立幼稚園+民間児童発達支援施設・事業)

計885人

(項目1) 生活への影響

Q6. 4・5歳児無償化によって、生活に影響がありましたか。当てはまるものをお選びください。(複数回答可)

「特に影響はなかった」の割合は、事前補助 (19%) が事後補助 (17%) より2ポイント高くなっています。

※事前補助と事後補助による生活への影響の差はほとんど生じていません。

どちらの形態においても「子育ての費用や教育費を充実することができた」「生活費にゆとりができた」割合が高くなりました。

補助形態	事前補助		事後補助		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
子育ての費用や教育費を充実することができた	307	53%	166	54%	473	53%
生活費にゆとりができた	234	41%	89	29%	323	36%
外食・レジャー等の機会が増えた	85	15%	33	11%	118	13%
ローンの返済へあてた	24	4%	12	4%	36	4%
貯蓄が増えた	70	12%	57	18%	127	14%
特に影響はなかった	107	19%	53	17%	160	18%
その他	11	2%	28	9%	39	4%
無回答	10	2%	6	2%	16	2%
合計	848		444		1292	

(項目2) 更なる出産への動機づけ

Q7. 4・5歳児無償化によって、子どもをさらに持ちたいと考えるきっかけとなりましたか。

「なった」「少しなった」をあわせた割合は、事後補助(47%)が事前補助(45%)より2ポイント高くなっています。

※事前補助と事後補助による子どもを持ちたいと考えるきっかけにほとんど差は生じていません。

補助形態	事前補助		事後補助		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
なった	75	13%	41	13%	116	13%
少しなった	186	32%	106	34%	292	33%
ならなかった	310	54%	162	53%	472	53%
無回答	5	1%	0	0%	5	1%
合計	576		309		885	

(項目2-2) 更なる出産への動機づけとなる対象年齢

※「ならなかった」を選んだ方は何歳からの無償化できっかけとなると考えますか。

Q7で「ならなかった」と答えた人の回答です。

事前補助及び事後補助ともに、「きっかけとならない」割合が最も高くなりました。

また、きっかけとなる年齢は、ともに「0歳～」が最も高くなりました。

※事後補助については、私学助成の幼稚園が対象となるため、入園時(3歳)からの無償化を希望する方が多いと考えられます。

補助形態	事前補助		事後補助		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
0歳～	83	27%	26	16%	109	23%
1歳～	12	4%	4	2%	16	3%
2歳～	12	4%	7	4%	19	4%
3歳～	23	7%	25	15%	48	10%
4歳～	2	1%	0	0%	2	1%
きっかけとならない	165	53%	97	61%	262	56%
無回答	13	4%	3	2%	16	3%
合計	310		162		472	

### (項目3) 定住への動機づけ

Q8. 4・5歳児無償化によって、門真市に住み続けたいと考えるきっかけとなりましたか。

「なった」「少しなった」をあわせた割合は、事後補助（70%）が事前補助（67%）より3ポイント高くなり、あまり差はありませんでした。

補助形態	事前補助		事後補助		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
なった	164	28%	79	26%	243	27%
少しなった	223	39%	137	44%	360	41%
ならなかった	187	32%	92	29%	279	31%
無回答	2	1%	1	1%	3	1%
合計	576		309		885	

#### (項目3-2) 定住への動機づけとなる対象年齢

※「ならなかった」を選んだ方は何歳からの無償化できっかけとなると考えますか。

Q8で「ならなかった」と答えた人の回答です。

事前補助及び事後補助ともに、「きっかけとまらない」割合が最も高くなりました。

また、きっかけとなる年齢は、ともに「0歳～」が最も高くなりました。

※事後補助については、私学助成の幼稚園が対象となるため、入園時（3歳）からの無償化を希望する方が多いと考えられます。

補助形態	事前補助		事後補助		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
0歳～	49	26%	11	12%	60	22%
1歳～	2	1%	3	3%	5	1%
2歳～	6	3%	0	0%	6	2%
3歳～	7	4%	9	10%	16	6%
4歳～	1	1%	0	0%	1	1%
きっかけとまらない	118	63%	67	73%	185	66%
無回答	4	2%	2	2%	6	2%
合計	187		92		279	

#### (項目4) 無償化に対する考え方

Q9. 現在、国では幼児教育等の無償化を3歳児以上及び住民税非課税世帯の3歳児未満を対象として、2019年度から一部をスタートし、2020年度から全面的に実施するスケジュールが示されていますが、門真市が先行して進めている無償化に対するあなたの考えとして、一番近いものをお選びください。

「良い取り組みだ」「賛成だ」「他の施策も同時に行うべきだ」をあわせた割合は事前補助95%、事後補助95%となり、同じになりました。

補助形態	事前補助		事後補助		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
国より先に市が無償化を実施するのは良い取り組みだ	316	55%	198	64%	514	58%
無償化には賛成だが、国より先に実施する必要はない	9	2%	13	4%	22	3%
無償化には賛成だが、同時に待機児童対策や教育・保育内容等の充実を行うべきだ	223	38%	82	27%	305	34%
無償化よりも優先すべき施策があるため、無償化には反対だ	24	4%	12	4%	36	4%
無回答	4	1%	4	1%	8	1%
合計	576		309		885	

#### (項目4-2) 無償化より優先すべき施策

※「無償化よりも優先すべき施策があるため、無償化には反対だ」を選んだ方は具体的な内容をお選びください。(複数回答可)

Q9で「反対だ」と答えた人(事前補助24人、事後補助12人)のうち、「教育・保育・療育内容の充実」「小・中学生の学力の向上」「災害に強く、住みやすいまちづくりの推進」の割合が高くなっています。但し、事後補助は母数が少数のため、割合が高めに反映されています。

補助形態	事前補助		事後補助		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
待機児童の解消	4	17%	0	0%	4	11%
教育・保育・療育内容の充実	13	54%	3	25%	16	44%
小・中学生の学力の向上	14	58%	4	33%	18	50%
高齢者・障がい者を支える福祉政策の充実	7	29%	0	0%	7	19%
災害に強く、住みやすいまちづくりの推進	10	42%	5	42%	15	42%
産業の振興	1	4%	0	0%	1	3%
文化・スポーツの振興	0	0%	0	0%	0	0%
その他	10	42%	5	42%	15	42%
無回答	0	0%	0	0%	0	0%
合計	59		17		76	



**【分類3】 利用形態別** ※生活保護受給世帯及び市町村民税非課税世帯72人、事後補助325人、生活保護受給世帯及び市町村民税非課税世帯かつ事後補助16人を除く

- ①幼児教育利用者 31人（6%）  
（市立幼稚園）
- ②保育利用者 532人（92%）  
（市立保育所＋私立保育所＋認定こども園）
- ③療育利用者 13人（2%）  
（こども発達支援センター＋民間児童発達支援施設・事業）

計576人

※本分類における、幼児教育利用者は市立幼稚園利用者のみ数字となるため、母数が少なく、保育利用者（市立＋私立）との比較は難しくなっています。また、療育利用者の母数も少数のため、割合が高めに反映されています。

**（項目1）生活への影響**

Q6. 4・5歳児無償化によって、生活に影響がありましたか。当てはまるものをお選びください。（複数回答可）

「特に影響はなかった」の割合は、保育利用者18%、幼児教育利用者26%、療育利用者31%の順に高くなっています。

どの利用者においても「子育ての費用や教育費を充実することができた」「生活費にゆとりができた」割合が高くなりました。

利用形態	幼児教育利用者		保育利用者		療育利用者		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
子育ての費用や教育費を充実することができた	17	55%	285	54%	5	38%	307	53%
生活費にゆとりができた	9	29%	222	42%	3	23%	234	41%
外食・レジャー等の機会が増えた	6	19%	78	15%	1	8%	85	15%
ローンの返済へあてた	0	0%	24	5%	0	0%	24	4%
貯蓄が増えた	1	3%	68	13%	1	8%	70	12%
特に影響はなかった	8	26%	95	18%	4	31%	107	19%
その他	0	0%	10	2%	1	8%	11	2%
無回答	0	0%	9	2%	1	8%	10	2%
合計	41		791		16		848	

(項目2) 更なる出産への動機づけ

Q7. 4・5歳児無償化によって、子どもをさらに持ちたいと考えるきっかけとなりましたか。

「なった」「少しなった」をあわせた割合は療育利用者31%、幼児教育利用者で38%、保育利用者で47%の順に高くなっています。

利用形態	幼児教育利用者		保育利用者		療育利用者		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
なった	2	6%	72	14%	1	8%	75	13%
少しなった	10	32%	173	33%	3	23%	186	32%
ならなかった	19	62%	282	52%	9	69%	310	54%
無回答	0	0%	5	1%	0	0%	5	1%
合計	31		532		13		576	

(項目2-2) 更なる出産への動機づけとなる対象年齢

※「ならなかった」を選んだ方は何歳からの無償化できっかけとなると考えますか。

Q7で「ならなかった」と答えた人の回答です。

全利用者において、「きっかけとならない」割合が最も高くなりました。

また、きっかけとなる年齢は、幼児教育利用者と保育利用者は「0歳～」、療育利用者は「3歳～」が最も高くなりました。

利用形態	幼児教育利用者		保育利用者		療育利用者		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
0歳～	2	11%	81	29%	0	0%	83	27%
1歳～	0	0%	12	4%	0	0%	12	4%
2歳～	1	5%	11	4%	0	0%	12	4%
3歳～	1	5%	20	7%	2	22%	23	7%
4歳～	0	0%	2	1%	0	0%	2	1%
きっかけとならない	13	68%	145	51%	7	78%	165	53%
無回答	2	11%	11	4%	0	0%	13	4%
合計	19		282		9		310	

(項目3) 定住への動機づけ

Q8. 4・5歳児無償化によって、門真市に住み続けたいと考えるきっかけとなりましたか。

「なった」「少しなった」をあわせた割合は、幼児教育利用者で68%、保育利用者で67%、療育利用者で69%とほぼ同じです。

利用形態	幼児教育利用者		保育利用者		療育利用者		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
なった	7	23%	151	28%	6	46%	164	28%
少しなった	14	45%	206	39%	3	23%	223	39%
ならなかった	10	32%	173	32%	4	31%	187	32%
無回答	0	0%	2	1%	0	0%	2	1%
合計	31		532		13		576	

### (項目3-2) 定住への動機づけとなる対象年齢

※「ならなかった」を選んだ方は何歳からの無償化できっかけとなると考えますか。

Q8で「ならなかった」と答えた人の回答です。

全利用者において、「きっかけとならない」割合が最も高くなりました。

また、きっかけとなる年齢は、保育利用者において「0歳～」が28%と最も高くなりました。

利用形態	幼児教育利用者		保育利用者		療育利用者		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
0歳～	0	0%	49	28%	0	0%	49	26%
1歳～	0	0%	2	1%	0	0%	2	1%
2歳～	1	10%	5	3%	0	0%	6	3%
3歳～	0	0%	7	4%	0	0%	7	4%
4歳～	0	0%	1	1%	0	0%	1	1%
きっかけとならない	8	80%	106	61%	4	100%	118	63%
無回答	1	10%	3	2%	0	0%	4	2%
合計	10		173		4		187	

(項目4) 無償化に対する考え方

Q9. 現在、国では幼児教育等の無償化を3歳児以上及び住民税非課税世帯の3歳児未満を対象として、2019年度から一部をスタートし、2020年度から全面的に実施するスケジュールが示されていますが、門真市が先行して進めている無償化に対するあなたの考えとして、一番近いものをお選びください。

「良い取り組みだ」「賛成だ」「他の施策も同時に行うべきだ」をあわせた割合は幼児教育利用者で100%、保育利用者で90%、療育利用者で77%となりました。

利用形態	幼児教育利用者		保育利用者		療育利用者		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
国より先に市が無償化を実施するのは良い取り組みだ	20	65%	289	54%	7	54%	316	54%
無償化には賛成だが、国より先に実施する必要はない	1	3%	8	2%	0	0%	9	2%
無償化には賛成だが、同時に待機児童対策や教育・保育内容等の充実を行うべきだ	10	32%	210	39%	3	23%	223	39%
無償化よりも優先すべき施策があるため、無償化には反対だ	0	0%	21	4%	3	23%	24	4%
無回答	0	0%	4	1%	0	0%	4	1%
合計	31		532		13		576	

(項目4-2) 無償化より優先すべき施策

※「無償化よりも優先すべき施策があるため、無償化には反対だ」を選んだ方は具体的な内容をお選びください。(複数回答可)

Q9で「反対だ」と答えた人の回答です。「教育・保育・療育内容の充実」「小・中学生の学力の向上」「災害に強く、住みやすいまちづくりの推進」の割合が高くなっています。

利用形態	幼児教育利用者		保育利用者		療育利用者		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
待機児童の解消	0	0%	4	19%	0	0%	4	17%
教育・保育・療育内容の充実	0	0%	10	48%	3	100%	13	54%
小・中学生の学力の向上	0	0%	12	57%	2	67%	14	58%
高齢者・障がい者を支える福祉政策の充実	0	0%	5	24%	2	67%	7	29%
災害に強く、住みやすいまちづくりの推進	0	0%	9	43%	1	33%	10	42%
産業の振興	0	0%	0	0%	1	33%	1	4%
文化・スポーツの振興	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
その他	0	0%	8	38%	2	67%	10	42%
無回答	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
合計	0		48		11		59	

**【分類4】 家族構成別** ※生活保護受給世帯及び市町村民税非課税世帯72人、事後補助325人、生活保護受給世帯及び市町村民税非課税世帯かつ事後補助16人を除く

- ①核家族（ひとり親家庭除く） 485人（84%）  
（父＋母（＋兄弟・姉妹））
- ②核家族（ひとり親家庭） 27人（5%）  
（父又は母（＋兄弟・姉妹））
- ③その他の世帯 64人（11%）

計576人

※本分類における、「その他世帯」の多くは、祖父母との同居を指しています。

**（項目1）生活への影響**

Q6. 4・5歳児無償化によって、生活に影響がありましたか。当てはまるものをお選びください。（複数回答可）

「特に影響はなかった」の割合は核家族（ひとり親家庭除く）で16%、その他世帯25%、核家族（ひとり親家庭）41%の順に高くなりました。

全世帯において「子育ての費用や教育費を充実することができた」「生活費にゆとりができた」割合が高くなりました。

家族構成	核家族 (ひとり親家庭除く)		核家族 (ひとり親家庭)		その他の世帯		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
子育ての費用や教育費を充実することができた	270	56%	8	30%	29	45%	307	53%
生活費にゆとりができた	206	42%	9	33%	19	30%	234	41%
外食・レジャー等の機会が増えた	73	15%	3	11%	9	14%	85	15%
ローンの返済へあてた	21	4%	1	4%	2	3%	24	4%
貯蓄が増えた	60	12%	2	7%	8	13%	70	12%
特に影響はなかった	80	16%	11	41%	16	25%	107	19%
その他	8	2%	2	7%	1	2%	11	2%
無回答	8	2%	0	0%	2	3%	10	2%
合計	726		36		86		848	

(項目2) 更なる出産への動機づけ

Q7. 4・5歳児無償化によって、子どもをさらに持ちたいと考えるきっかけとなりましたか。

「なった」「少しなった」をあわせた割合は、核家族（ひとり親）33%、その他世帯44%、核家族（ひとり親除く）46%の順で高くなりました。

家族構成	核家族 (ひとり親家庭除く)		核家族 (ひとり親家庭)		その他の世帯		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
なった	64	13%	2	7%	9	14%	75	13%
少しなった	160	33%	7	26%	19	30%	186	32%
ならなかった	259	53%	17	63%	34	53%	310	54%
無回答	2	1%	1	4%	2	3%	5	1%
合計	485		27		64		576	

(項目2-2) 更なる出産への動機づけとなる対象年齢

※「ならなかった」を選んだ方は何歳からの無償化できっかけとなると考えますか。

Q7で「ならなかった」と答えた人の回答です。

全世帯において、「きっかけとならない」割合が最も高くなりました。

また、きっかけとなる年齢は、全世帯において「0歳～」が最も高く、特に核家族（ひとり親）世帯で41%となりました。

家族構成	核家族 (ひとり親家庭除く)		核家族 (ひとり親家庭)		その他の世帯		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
0歳～	68	26%	7	41%	8	24%	83	27%
1歳～	12	5%	0	0%	0	0%	12	4%
2歳～	11	4%	0	0%	1	3%	12	4%
3歳～	16	6%	3	18%	4	12%	23	7%
4歳～	2	1%	0	0%	0	0%	2	1%
きっかけとならない	139	54%	7	41%	19	56%	165	53%
無回答	11	4%	0	0%	2	5%	13	4%
合計	259		17		34		310	

(項目3) 定住への動機づけ

Q8. 4・5歳児無償化によって、門真市に住み続けたいと考えるきっかけとなりましたか。

「なった」「少しなった」をあわせた割合は、核家族（ひとり親）60%、核家族（ひとり親除く）とその他世帯で68%と高くなりました。

家族構成	核家族 (ひとり親家庭除く)		核家族 (ひとり親家庭)		その他の世帯		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
なった	134	28%	8	30%	22	34%	164	28%
少しなった	193	40%	8	30%	22	34%	223	39%
ならなかった	156	31%	11	40%	20	32%	187	32%
無回答	2	1%	0	0%	0	0%	2	1%
合計	485		27		64		576	

(項目3-2) 定住への動機づけとなる対象年齢

※「ならなかった」を選んだ方は何歳からの無償化できっかけとなると考えますか。

Q8で「ならなかった」と答えた人の回答です。

「きっかけとならない」人の割合は、核家族（ひとり親）が36%と最も低くなりました。また、きっかけとなる年齢は、全世帯において「0歳～」が最も高くなりました。

家族構成	核家族 (ひとり親家庭除く)		核家族 (ひとり親家庭)		その他の世帯		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
0歳～	36	23%	6	55%	7	35%	49	26%
1歳～	2	1%	0	0%	0	0%	2	1%
2歳～	5	3%	0	0%	1	5%	6	3%
3歳～	4	3%	1	9%	2	10%	7	4%
4歳～	1	1%	0	0%	0	0%	1	1%
きっかけとならない	104	66%	4	36%	10	50%	118	63%
無回答	4	3%	0	0%	0	0%	4	2%
合計	156		11		20		187	

(項目4) 無償化に対する考え方

Q9. 現在、国では幼児教育等の無償化を3歳児以上及び住民税非課税世帯の3歳児未満を対象として、2019年度から一部をスタートし、2020年度から全面的に実施するスケジュールが示されていますが、門真市が先行して進めている無償化に対するあなたの考えとして、一番近いものをお選びください。

「良い取り組みだ」「賛成だ」「他の施策も同時に行うべきだ」をあわせた回答は全世帯で90%以上となりました。

家族構成	核家族 (ひとり親家庭除く)		核家族 (ひとり親家庭)		その他の世帯		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
国より先に市が無償化を実施するのは良い取り組みだ	260	54%	14	52%	42	66%	316	54%
無償化には賛成だが、国より先に実施する必要はない	8	2%	1	4%	0	0%	9	2%
無償化には賛成だが、同時に待機児童対策や教育・保育内容等の充実を行うべきだ	192	40%	11	40%	20	31%	223	39%
無償化よりも優先すべき施策があるため、無償化には反対だ	22	3%	0	0%	2	3%	24	4%
無回答	3	1%	1	4%	0	0%	4	1%
合計	485		27		64		576	

(項目4-2) 無償化より優先すべき施策

※「無償化よりも優先すべき施策があるため、無償化には反対だ」を選んだ方は具体的な内容をお選びください。(複数回答可)

Q9で「反対だ」と答えた人の回答です。「待機児童の解消」「教育・保育・療育内容の充実」「小・中学生の学力の向上」「災害に強く、住みやすいまちづくりの推進」の割合が高くなっています。但し、母数が少数のため、割合が高めに反映されています。

家族構成	核家族 (ひとり親除く)		核家族 (ひとり親)		その他世帯		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
待機児童の解消	2	9%	0	0%	2	100%	4	17%
教育・保育・療育内容の充実	12	55%	0	0%	1	50%	13	54%
小・中学生の学力の向上	14	64%	0	0%	0	0%	14	58%
高齢者・障がい者を支える福祉政策の充実	6	27%	0	0%	1	50%	7	29%
災害に強く、住みやすいまちづくりの推進	8	36%	0	0%	2	100%	10	42%
産業の振興	1	5%	0	0%	0	0%	1	4%
文化・スポーツの振興	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
その他	9	41%	0	0%	1	50%	10	42%
無回答	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
合計	52		0		7		59	



**【分類5】 保護者年齢別** ※生活保護受給世帯及び市町村民税非課税世帯72人、事後補助325人、生活保護受給世帯及び市町村民税非課税世帯かつ事後補助16人を除く

①母親の年齢が10～20代	56人 (10%)
②母親の年齢が30代	335人 (58%)
③母親の年齢が40代	185人 (32%)
④母親の年齢が50代以上	0人 (0%)
	計576人

- ※ 保護者の年齢は、母の年齢で分類しています。なお、父子世帯は、父の年齢で分類していません。
- ※ その他（保護者が父母以外の場合）は、すべてが除外条件のいずれかに該当したため、本分類に用いていません。
- ※ 母親の年齢が「50代以上」は、該当がありませんでした。

**（項目1）生活への影響**

Q6. 4・5歳児無償化によって、生活に影響がありましたか。当てはまるものをお選びください。（複数回答可）

「特に影響はなかった」割合は、母親の年齢が10～20代で14%と低くなっています。

全ての世代において「子育ての費用や教育費を充実することができた」「生活費にゆとりができた」割合が高くなりました。

保護者年齢	10 ～ 20 代		30 代		40 代		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
子育ての費用や教育費を充実することができた	33	59%	176	53%	98	53%	307	53%
生活費にゆとりができた	22	39%	140	42%	72	39%	234	41%
外食・レジャー等の機会が増えた	9	16%	54	16%	22	12%	85	15%
ローンの返済へあてた	4	7%	16	5%	4	2%	24	4%
貯蓄が増えた	2	4%	51	15%	17	9%	70	12%
特に影響はなかった	8	14%	67	20%	32	17%	107	19%
その他	1	2%	7	2%	3	2%	11	2%
無回答	4	7%	5	1%	1	1%	10	2%
合計	83		516		249		848	

(項目2) 更なる出産への動機づけ

Q7. 4・5歳児無償化によって、子どもをさらに持ちたいと考えるきっかけとなりましたか。

「なった」「少しなった」をあわせた割合は、母親の年齢が10～20代で66%、30代で47%、40代で37%と、10～20代が最も高くなりました。

保護者年齢	10 ～ 20 代		30 代		40 代		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
なった	11	20%	47	14%	17	9%	75	13%
少しなった	26	46%	109	33%	51	28%	186	32%
ならなかった	19	34%	175	52%	116	62%	310	54%
無回答	0	0%	4	1%	1	1%	5	1%
合計	56		335		185		576	

(項目2-2) 更なる出産への動機づけとなる対象年齢

※「ならなかった」を選んだ方は何歳からの無償化できっかけとなると考えますか。

Q7で「ならなかった」と答えた人の回答です。「きっかけとしない」人の割合は、母親の年齢が10～20代で63%と最も高く、30代で50%と最も低くなりました。きっかけとなる年齢は、母親の年齢が30代で「0歳～」の割合が31%と高くなりました。

保護者年齢	10 ～ 20 代		30 代		40 代		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
0歳～	4	21%	56	31%	23	20%	83	27%
1歳～	0	0%	8	5%	4	3%	12	4%
2歳～	0	0%	7	4%	5	4%	12	4%
3歳～	2	11%	11	6%	10	9%	23	7%
4歳～	0	0%	1	1%	1	1%	2	1%
きっかけとしない	12	63%	87	50%	66	57%	165	53%
無回答	1	5%	5	3%	7	6%	13	4%
合計	19		175		116		310	

(項目3) 定住への動機づけ

Q8. 4・5歳児無償化によって、門真市に住み続けたいと考えるきっかけとなりましたか。

「なった」「少しなった」をあわせた割合は、母親の年齢が10～20代で82%と高く、「ならなかった」人の割合は、母親の年齢が10～20代で18%と低く、40代の35%と比べると17ポイントの差が見られました。

保護者年齢	10 ～ 20 代		30 代		40 代		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
なった	24	43%	86	26%	54	29%	164	28%
少しなった	22	39%	135	40%	66	35%	223	39%
ならなかった	10	18%	113	33%	64	35%	187	32%
無回答	0	0%	1	1%	1	1%	2	1%
合計	56		335		185		576	

(項目3-2) 定住への動機づけとなる対象年齢

※「ならなかった」を選んだ方は何歳からの無償化できっかけとなると考えますか。

Q8で「ならなかった」と答えた人の回答です。

全ての世代において、「きっかけとならない」割合が最も高くなりました。

きっかけとなる年齢は、「0歳～」の割合が、母親の年齢が10～20代で30%と最も高くみられました。

保護者年齢	10 ～ 20 代		30 代		40 代		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
0歳～	3	30%	33	29%	13	20%	49	26%
1歳～	0	0%	1	1%	1	2%	2	1%
2歳～	0	0%	6	5%	0	0%	6	3%
3歳～	1	10%	3	3%	3	5%	7	4%
4歳～	0	0%	1	1%	0	0%	1	1%
きっかけとならない	6	60%	66	58%	46	71%	118	63%
無回答	0	0%	3	3%	1	2%	4	2%
合計	10		113		64		187	

(項目4) 無償化に対する考え方

Q9. 現在、国では幼児教育等の無償化を3歳児以上及び住民税非課税世帯の3歳児未満を対象として、2019年度から一部をスタートし、2020年度から全面的に実施するスケジュールが示されていますが、門真市が先行して進めている無償化に対するあなたの考えとして、一番近いものをお選びください。

「良い取り組みだ」「賛成だ」「他の施策も同時に行うべきだ」をあわせた割合は、全ての世代で90%以上となりました。

保護者年齢	10 ～ 20 代		30 代		40 代		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
国より先に市が無償化を実施するのは良い取り組みだ	35	63%	183	55%	98	53%	316	54%
無償化には賛成だが、国より先に実施する必要はない	0	0%	6	2%	3	2%	9	2%
無償化には賛成だが、同時に待機児童対策や教育・保育内容等の充実を行うべきだ	17	30%	132	38%	74	39%	223	39%
無償化よりも優先すべき施策があるため、無償化には反対だ	3	5%	12	4%	9	5%	24	4%
無回答	1	2%	2	1%	1	1%	4	1%
合計	56		335		185		576	

(項目4-2) 無償化より優先すべき施策

※「無償化よりも優先すべき施策があるため、無償化には反対だ」を選んだ方は具体的な内容をお選びください。(複数回答可)

Q9で「反対だ」と答えた人の回答です「教育・保育・療育内容の充実」「小・中学生の学力の向上」「災害に強く、住みやすいまちづくりの推進」の割合が高くなっています。但し、母数が少数のため、割合が高めに反映されています。

保護者年齢	10 ～ 20 代		30 代		40 代		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
待機児童の解消	1	33%	1	8%	2	22%	4	17%
教育・保育・療育内容の充実	3	100%	6	50%	4	44%	13	54%
小・中学生の学力の向上	3	100%	7	58%	4	44%	14	58%
高齢者・障がい者を支える福祉政策の充実	2	67%	3	25%	2	22%	7	29%
災害に強く、住みやすいまちづくりの推進	3	100%	4	33%	3	33%	10	42%
産業の振興	0	0%	1	8%	0	0%	1	4%
文化・スポーツの振興	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
その他	0	0%	6	50%	4	44%	10	42%
無回答	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
合計	12		28		19		59	

**【分類6】子ども人数別** ※生活保護受給世帯及び市町村民税非課税世帯72人、事後補助325人、生活保護受給世帯及び市町村民税非課税世帯かつ事後補助16人を除く

- ① 1人 110人 (19%)
- ② 2人 288人 (50%)
- ③ 3人 133人 (23%)
- ④ 4人以上 45人 (8%)

計576人

**(項目1) 生活への影響**

Q6. 4・5歳児無償化によって、生活に影響がありましたか。当てはまるものをお選びください。(複数回答可)

「特に影響はなかった」の割合は、「1人」「2人」「3人」で約17%と差は生じていません。全世帯において「子育ての費用や教育費を充実することができた」「生活費にゆとりができた」割合が高くなりました。

子どもの人数	1人		2人		3人		4人以上		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
子育ての費用や教育費を充実することができた	61	55%	156	54%	69	52%	21	47%	307	53%
生活費にゆとりができた	45	41%	121	42%	50	38%	18	40%	234	41%
外食・レジャー等の機会が増えた	25	23%	42	15%	14	11%	4	9%	85	15%
ローンの返済へあてた	4	4%	12	4%	5	4%	3	7%	24	4%
貯蓄が増えた	18	16%	35	12%	16	12%	1	2%	70	12%
特に影響はなかった	19	17%	52	18%	24	18%	12	27%	107	19%
その他	2	2%	4	1%	3	2%	2	4%	11	2%
無回答	2	2%	2	1%	6	5%	0	0%	10	2%
合計	176		424		187		61		848	

(項目2) 更なる出産への動機づけ

Q7. 4・5歳児無償化によって、子どもをさらに持ちたいと考えるきっかけとなりましたか。

子の数に比例して、「ならなかった」人の割合が高くなっています。

子どもの人数	1人		2人		3人		4人以上		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
なった	17	15%	38	13%	16	12%	4	9%	75	13%
少しなった	36	33%	95	33%	42	32%	13	29%	186	32%
ならなかった	53	48%	155	54%	75	56%	27	60%	310	54%
無回答	4	4%	0	0%	0	0%	1	2%	5	1%
合計	110		288		133		45		576	

(項目2-2) 更なる出産への動機づけとなる対象年齢

※「ならなかった」を選んだ方は何歳からの無償化できっかけとなると考えますか。

Q7で「ならなかった」と答えた人の回答です。

全世帯において「きっかけとならない」割合が高くなりました。

また、きっかけとなる年齢は、全世帯において「0歳～」が高く、子の数が「3人」の世帯が35%と最も高くなりました。

子どもの人数	1人		2人		3人		4人以上		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
0歳～	13	25%	39	25%	26	35%	5	18%	83	27%
1歳～	4	8%	5	3%	2	3%	1	4%	12	4%
2歳～	2	4%	3	2%	4	5%	3	11%	12	4%
3歳～	5	8%	12	8%	5	6%	1	4%	23	7%
4歳～	1	2%	1	1%	0	0%	0	0%	2	1%
きっかけとならない	26	49%	89	57%	36	48%	14	52%	165	53%
無回答	2	4%	6	4%	2	3%	3	11%	13	4%
合計	53		155		75		27		310	

(項目3) 定住への動機づけ

Q8. 4・5歳児無償化によって、門真市に住み続けたいと考えるきっかけとなりましたか。

「なった」「少しなった」をあわせた回答は、全世帯において62%以上となりました。

子どもの人数	1人		2人		3人		4人以上		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
なった	31	28%	85	30%	35	26%	13	29%	164	28%
少しなった	44	40%	115	40%	48	36%	16	36%	223	39%
ならなかった	34	31%	88	30%	50	38%	15	33%	187	32%
無回答	1	1%	0	0%	0	0%	1	2%	2	1%
合計	110		288		133		45		576	

(項目3-2) 定住への動機づけとなる対象年齢

※「ならなかった」を選んだ方は何歳からの無償化できっかけとなると考えますか。

Q8で「ならなかった」と答えた人の回答です。

全世帯において「きっかけとならない」割合が高くなりました。

また、きっかけとなる年齢は、全世帯において「0歳～」が高く、子の数が「3人」の世帯が34%と最も高くなりました。

子どもの人数	1人		2人		3人		4人以上		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
0歳～	10	29%	17	20%	17	34%	5	33%	49	26%
1歳～	0	0%	2	2%	0	0%	0	0%	2	1%
2歳～	1	3%	2	2%	3	6%	0	0%	6	3%
3歳～	2	6%	4	5%	0	0%	1	7%	7	4%
4歳～	0	0%	1	1%	0	0%	0	0%	1	1%
きっかけとならない	20	59%	62	70%	28	56%	8	53%	118	63%
無回答	1	3%	0	0%	2	4%	1	7%	4	2%
合計	34		88		50		15		187	

(項目4) 無償化に対する考え方

Q9. 現在、国では幼児教育等の無償化を3歳児以上及び住民税非課税世帯の3歳児未満を対象として、2019年度から一部をスタートし、2020年度から全面的に実施するスケジュールが示されていますが、門真市が先行して進めている無償化に対するあなたの考えとして、一番近いものをお選びください。

「良い取り組みだ」「賛成だ」「他の施策も同時に行うべきだ」を合わせた割合は、全世帯において93%以上となりました。子の数に比例した傾向はみられませんでした。

子どもの人数	1人		2人		3人		4人以上		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
国より先に市が無償化を実施するのは良い取り組みだ	59	54%	143	50%	87	65%	27	60%	316	54%
無償化には賛成だが、国より先に実施する必要はない	2	2%	5	2%	2	2%	0	0%	9	2%
無償化には賛成だが、同時に待機児童対策や教育・保育内容等の充実を行うべきだ	42	38%	129	44%	35	26%	17	38%	223	39%
無償化よりも優先すべき施策があるため、無償化には反対だ	4	4%	10	3%	9	7%	1	2%	24	4%
無回答	3	2%	1	1%	0	0%	0	0%	4	1%
合計	110		288		133		45		576	

(項目4-2) 無償化より優先すべき施策

※「無償化よりも優先すべき施策があるため、無償化には反対だ」を選んだ方は具体的な内容をお選びください。(複数回答可)

Q9で「反対だ」と答えた人の回答です。「教育・保育・療育内容の充実」「小・中学生の学力の向上」「災害に強く、住みやすいまちづくりの推進」の割合が高くなっています。但し、母数が少数のため、割合が高めに反映されています。

子どもの人数	1人		2人		3人		4人以上		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
待機児童の解消	0	0%	2	20%	2	22%	0	0%	4	17%
教育・保育・療育内容の充実	1	25%	6	60%	6	67%	0	0%	13	54%
小・中学生の学力の向上	3	75%	5	50%	6	67%	0	0%	14	58%
高齢者・障がい者を支える福祉政策の充実	1	25%	2	20%	4	44%	0	0%	7	29%
災害に強く、住みやすいまちづくりの推進	0	0%	5	50%	5	56%	0	0%	10	42%
産業の振興	0	0%	1	10%	0	0%	0	0%	1	4%
文化・スポーツの振興	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
その他	2	50%	5	50%	2	22%	1	100%	10	42%
無回答	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
合計	7		26		25		1		59	



【分類7】きょうだい状況別 ※生活保護受給世帯及び市町村民税非課税世帯72人、事後補助325人、  
生活保護受給世帯及び市町村民税非課税世帯かつ事後補助16人を除く

①きょうだいなし	110人 (20%)
②3歳未満の弟妹あり	163人 (29%)
③3歳未満の弟妹がおらず、3～4歳の弟妹あり	64人 (11%)
④弟妹がおらず、直近の兄姉が小学1～3年生	142人 (25%)
⑤弟妹がおらず、直近の兄姉が小学4～6年生	63人 (11%)
⑥弟妹がおらず、直近の兄姉が中学生以上	22人 (4%)

計564人

(項目1) 生活への影響

Q6. 4・5歳児無償化によって、生活に影響がありましたか。当てはまるものをお選びください。(複数回答可)

「特に影響はなかった」割合は、弟妹なし直近の兄姉が小学4～6年生が24%と最も高くなりました。

全世帯において「子育ての費用や教育費を充実することができた」「生活費にゆとりができた」割合が高くなりました。

きょうだい状況	きょうだいなし		3歳未満の弟妹あり		3～4歳の弟妹あり、3歳未満の弟妹がおらず、		直近の兄姉が小学1～3年生、弟妹がおらず、		直近の兄姉が小学4～6年生、弟妹がおらず、		直近の兄姉が中学生以上、弟妹がおらず、		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
子育ての費用や教育費を充実することができた	61	55%	85	52%	33	52%	82	58%	30	48%	10	45%	301	53%
生活費にゆとりができた	45	41%	66	40%	23	36%	54	38%	33	52%	9	41%	230	41%
外食・レジャー等の機会が増えた	25	23%	25	15%	10	16%	13	9%	6	10%	4	18%	83	15%
ローンの返済へあてた	4	4%	8	2%	4	6%	5	4%	2	3%	1	5%	24	4%
貯蓄が増えた	18	16%	19	12%	10	16%	17	12%	3	5%	3	14%	70	12%
特に影響はなかった	19	17%	28	17%	13	20%	26	18%	15	24%	3	14%	104	18%
その他	2	2%	3	2%	4	6%	0	0%	0	0%	1	5%	10	2%
無回答	2	2%	6	4%	1	2%	1	1%	0	0%	0	0%	10	2%
合計	176		240		98		198		89		31		832	

(項目2) 更なる出産への動機づけ

Q7. 4・5歳児無償化によって、子どもをさらに持ちたいと考えるきっかけとなりましたか。

「なった」「少しなった」をあわせた割合は、3歳未満の弟妹ありが53%と最も高くなりました。

きょうだい状況	きょうだいなし		3歳未満の弟妹あり		3～4歳の弟妹あり 3歳未満の弟妹がおらず、		直近の兄姉が小学1～3年生 弟妹がおらず、		直近の兄姉が小学4～6年生 弟妹がおらず、		直近の兄姉が中学生以上 弟妹がおらず、		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
なった	17	15%	31	19%	7	11%	14	10%	5	8%	1	4%	75	13%
少しなった	36	33%	55	34%	23	36%	47	33%	14	22%	7	32%	182	32%
ならなかった	53	48%	77	47%	33	52%	81	57%	44	70%	14	64%	302	54%
無回答	4	4%	0	0%	1	1%	0	0%	0	0%	0	0%	5	1%
合計	110		163		64		142		63		22		564	

(項目2-2) 更なる出産への動機づけとなる対象年齢

※「ならなかった」を選んだ方は何歳からの無償化できっかけとなると考えますか。

Q7で「ならなかった」と答えた人の回答です。

「きっかけとならない」割合は、全世帯において最も高くなりました

また、きっかけとなる年齢は、直近の兄姉が中学生以上を除く世帯で「0歳～」が最も高く「3歳未満の弟妹あり」で34%と最も高くなりました。

きょうだい状況	きょうだいなし		3歳未満の弟妹あり		3～4歳の弟妹あり 3歳未満の弟妹がおらず、		直近の兄姉が小学1～3年生 弟妹がおらず、		直近の兄姉が小学4～6年生 弟妹がおらず、		直近の兄姉が中学生以上 弟妹がおらず、		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
0歳～	13	24%	26	34%	8	24%	22	27%	12	27%	0	0%	81	27%
1歳～	4	8%	4	5%	0	0%	1	1%	1	2%	2	14%	12	4%
2歳～	2	4%	4	5%	1	3%	2	2%	2	5%	0	0%	11	4%
3歳～	5	9%	4	5%	2	6%	7	9%	3	7%	1	7%	22	7%
4歳～	1	2%	0	0%	0	0%	1	1%	0	0%	0	0%	2	1%
きっかけとならない	26	49%	37	48%	22	67%	42	53%	23	52%	11	79%	161	53%
無回答	2	4%	2	3%	0	0%	6	7%	3	7%	0	0%	13	4%
合計	53		77		33		81		44		14		302	

(項目3) 定住への動機づけ

Q8. 4・5歳児無償化によって、門真市に住み続けたいと考えるきっかけとなりましたか。

「なった」「少しなった」をあわせた割合は、「3歳未満の弟妹あり」と「弟妹なし 直近の兄姉が小学1～3年生」の世帯が70%と最も高くなりました。

きょうだい状況	きょうだいなし		3歳未満の弟妹あり		3～4歳の弟妹あり 3歳未満の弟妹がおらず、		直近の兄姉が小学1～3年生 弟妹がおらず、		直近の兄姉が小学4～6年生 弟妹がおらず、		直近の兄姉が中学生以上 弟妹がおらず、		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
なった	31	28%	43	26%	17	27%	42	30%	22	35%	8	36%	163	29%
少しなった	44	40%	72	44%	22	34%	58	40%	19	30%	4	18%	219	38%
ならなかった	34	31%	48	30%	24	38%	42	30%	22	35%	10	46%	180	32%
無回答	1	1%	0	0%	1	1%	0	0%	0	0%	0	0%	2	1%
合計	110		163		64		142		63		22		564	

(項目3-2) 定住への動機づけとなる対象年齢

※「ならなかった」を選んだ方は何歳からの無償化できっかけとなると考えますか。

Q8で「ならなかった」と答えた人の回答です。

「きっかけとまらない」割合は、全世帯において最も高くなりました

また、きっかけとなる年齢は、直近の兄姉が中学生以上を除く世帯で「0歳～」が高く、「3歳未満の弟妹あり」で34%と最も高くなりました。

きょうだい状況	きょうだいなし		3歳未満の弟妹あり		3～4歳の弟妹あり 3歳未満の弟妹がおらず、		直近の兄姉が小学1～3年生 弟妹がおらず、		直近の兄姉が小学4～6年生 弟妹がおらず、		直近の兄姉が中学生以上 弟妹がおらず、		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
0歳～	10	29%	16	34%	4	17%	11	26%	6	27%	0	0%	47	26%
1歳～	0	0%	0	0%	1	4%	0	0%	1	5%	0	0%	2	1%
2歳～	1	3%	3	6%	1	4%	0	0%	0	0%	0	0%	5	3%
3歳～	2	6%	1	2%	1	4%	2	5%	0	0%	0	0%	6	3%
4歳～	0	0%	0	0%	0	0%	1	2%	0	0%	0	0%	1	1%
きっかけとまらない	20	59%	26	54%	17	71%	27	65%	15	68%	10	100%	115	64%
無回答	1	3%	2	4%	0	0%	1	2%	0	0%	0	0%	4	2%
合計	34		48		24		42		22		10		180	

(項目4) 無償化に対する考え方

Q9. 現在、国では幼児教育等の無償化を3歳児以上及び住民税非課税世帯の3歳児未満を対象として、2019年度から一部をスタートし、2020年度から全面的に実施するスケジュールが示されていますが、門真市が先行して進めている無償化に対するあなたの考えとして、一番近いものをお選びください。

「良い取り組みだ」「賛成だ」「他の施策も同時に行うべきだ」を合わせた割合は、全世帯で93%以上となりました。

きょうだい状況	きょうだいなし		3歳未満の弟妹あり		3～4歳の弟妹あり 3歳未満の弟妹がおらず、		直近の兄弟が小学1～3年生 弟妹がおらず、		直近の兄弟が小学4～6年生 弟妹がおらず、		直近の兄弟が中学生以上 弟妹がおらず、		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
国より先に市が無償化を実施するのは良い取り組みだ	59	54%	89	55%	36	56%	81	57%	32	51%	12	55%	309	55%
無償化には賛成だが、国より先に実施する必要はない	2	2%	1	1%	3	5%	1	1%	0	0%	2	9%	9	2%
無償化には賛成だが、同時に待機児童対策や教育・保育内容等の充実を行うべきだ	42	37%	69	42%	23	36%	50	35%	27	43%	7	32%	218	38%
無償化よりも優先すべき施策があるため、無償化には反対だ	4	4%	4	2%	2	3%	9	6%	4	6%	1	4%	24	4%
無回答	3	3%	0	0%	0	0%	1	1%	0	0%	0	0%	4	1%
合計	110		163		64		142		63		22		564	

(項目4-2) 無償化より優先すべき施策

※「無償化よりも優先すべき施策があるため、無償化には反対だ」を選んだ方は具体的な内容をお選びください。(複数回答可)

Q9で「反対だ」と答えた人の回答です。「教育・保育・療育内容の充実」「小・中学生の学力の向上」「災害に強く、住みやすいまちづくりの推進」の割合が高くなっています。但し、母数が少数のため、割合が高めに反映されています。

きょうだい状況	きょうだいなし		3歳未満の弟妹あり		3～4歳の弟妹あり 3歳未満の弟妹がおらず、		直近の兄弟が小学1～3年生 弟妹がおらず、		直近の兄弟が小学4～6年生 弟妹がおらず、		直近の兄弟が中学生以上 弟妹がおらず、		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
待機児童の解消	0	0%	1	25%	0	0%	1	11%	1	25%	1	100%	4	17%
教育・保育・療育内容の充実	1	25%	3	75%	1	50%	7	78%	0	0%	1	100%	13	54%
小・中学生の学力の向上	3	75%	3	75%	0	0%	7	78%	1	25%	0	0%	14	58%
高齢者・障がい者を支える福祉政策の充実	1	25%	2	50%	1	50%	2	22%	1	25%	0	0%	7	29%
災害に強く、住みやすいまちづくりの推進	0	0%	3	75%	0	0%	3	33%	3	75%	1	100%	10	42%
産業の振興	0	0%	0	0%	0	0%	1	11%	0	0%	0	0%	1	4%
文化・スポーツの振興	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
その他	2	50%	1	25%	2	100%	2	22%	3	75%	0	0%	10	42%
無回答	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
合計	7		13		4		23		9		3		59	

## IV 自由意見

### 1. 分類

調査票に「無償化以外で期待される子育て支援の取り組みがあれば、ご記入ください。」と自由意見記入欄を設けたところ、有効回答957件のうち311件の意見がありました。内容は多岐にわたっていますが、便宜上、以下の15項目に分類しました。

番号	分 類	件数
1	学校教育について	43
2	母子保健・小児医療について	36
3	放課後等の児童・生徒への支援について	18
4	待機児童対策について	24
5	各種保育サービス等について	35
6	幼児教育・保育・療育について	28
7	就学後の経済的負担軽減について	12
8	幼児教育・保育・療育無償化への意見	11
9	保育士・幼稚園教諭等の処遇改善等について	13
10	金銭的支援等について	25
11	子どもの遊び場等について	33
12	安全・安心なまちづくりについて	25
13	子育てと仕事の両立支援について	7
14	出産への支援について	10
15	その他	36

※ 複数の分類に重複する意見や1件で複数記入している意見は「再掲」として集計していません。

※ 寄せられた意見は、できる限り原文のとおりに掲載しています。

## 2. 自由意見

番号	分類	意見
1	学校教育について（43件）	小、中学生の学力の向上。（他4件）
		小、中学校の学力の向上。スポーツをもっと盛んに！
		小・中学生の学力の向上、教育内容の充実
		各小学校で塾並の学力向上支援教室の開催。
		学力向上の為の取り組み。
		小・中学生の学力の向上（塾へ通えない子供達の為に、市が取り組んで勉強する場を作ってほしい。特に国語・算数・英語）
		小中学校の勉強カリキュラムの充実。
		学力レベルの向上を図って欲しい。
		小・中学生の学力の向上。やはり他市に比べると学力レベルの低さが目立ちます。
		義務教育レベル向上（公立）
		教育内容の充実。
		小学校では幅広く学習面のサポートを受けたい。できない子だけでなく、できる子のサポートも勉強は塾ではなく学校ですべきだと思う。
		大阪あるいは全国的にも門真の学力が低いと有名。教育委員会の考え方を変えなければ学力向上にはつながらず教師のレベルも低いまま。教育委員会、教師のレベルを全国レベルにまで上げるよう努力すべきだ！！
		大阪府の小、中学生の学力向上。
		以上児クラスからの教育を増やして欲しい。（保育所でも）全施設がこども園になればいいと思う。私立は別だけど。（理由）学力低下。小1からの学力にあまり差をなくす為。小学校の教員不足により学力低下リスクあり。最悪いじめにつながるリスクあり。幼児期の時点である程度の教育がされていたら、小学校からの教育にもスムーズについていけると思う。ゆとり廃止！！（理由）将来不安！！※再掲
小学校、中学校の設備が古すぎる。せめてトイレはキレイに改築してほしい。		
公立小学校の改装。		
小学校のトイレを早急にきれいにしていきたい。		

とにかく小、中学生のトイレ、衛生面をもっときちんと整備してください。人が利用できないほど汚く、子どもが我慢して帰ってきます。病気になったら責任取ってもらえるのでしょうか？幼稚園無償化の前にもっともっとやるのがたくさんあると思います。※再掲

トイレを全て洋式に。室内を建物を新しく清潔に。小学校の私服から制服に。

小学校（四宮）の老朽化がひどいのでどうにかしてほしい！！できるだけ早く対策をお願いします。

学校等の施設の設備の充実

小学校の設備に差があり過ぎると感じます。

小学校でもアレルギー食対応。

学校給食費の無償化・待機児童対策※再掲

給食費（小学校・中学校）の無償化。

給食の無償化。英語学習の低価格化。

給食関係……小学校になりますが、朝食を摂るということ以前に、朝食の存在を知らない子が少なくないことに驚きました。どんなに教育に力を入れても給食までが空腹では何も身に付きません。気持ちも不安定になるかもしれません。どうかならないかと常に感じています。

全小学校・中学校で無料で制服配布。ランドセル廃止。

学校の制服を作してほしい（小学校）

小学校の制服導入。無償化と同じくらい大切だと思います。

小学校の制服、ランドセルを指定のランリュック等に変える。無償化も良いけれど小学校に他の市と違う魅力がある事（物）を考える。

他市では新1年生にランドセルや防犯ブザーの支給があるそうです。こういった貧富の差が出やすいものを支給するなど検討してはどうか。あと私服登校は「しょっちゅう同じ服を着ている」とか「ダサイ」とか服の事で言われるように思う。制服は最初はお金がかかるから嫌がる保護者がいるかもしれないが、広い目、長い目でみたら制服がいいと私は考える。

子供が小学校に入学する時、他市では両親共働きの場合祖父母宅より学校に通わず事のできる制度があるのに門真市はみとめてないようで相談しても無理でした。小学校入学と同時に就労時間も長くなるし、国も働き方改革をしているのに仕事をやめなくてはいけない状態なのでおかしい。子供の安全の為に認めてもらえるよう考えて欲しい



		い。
		P T Aへの加入を強制ではなく任意ということを広めてほしい。
		小学校の役員についてとても不満があります。役員のシステムは昔のままですが、母親が働いている方、シングルの方は昔よりも増えています。役員にあたることで、さらに母親の仕事が増えてきます。特に子供会は負担が多く、役にあたることで体調を崩す方もよくみます。子供は子供会に参加していなくても役員だけはしなくてはいけないとゆう決まりになっていることをご存じでしょうか？
		校区の見直し。
		自宅近くに小学校がありますが、住所で区切られている為に中学校がすごく遠くなります。近くに中学校もあるのにそこには通えないので学校からの距離も考えて学校を決めて頂きたいなと思います。
		いろいろな経験をしてもらいたいが、幼稚園、学校共に人数が少ない。幼稚園は私立なので仕方ないが、学校のクラスの少なさを考えてもらいたい。※再掲
2	母子保健・小児医療について (36件)	インフルエンザワクチンの無償化や補助等 (他 4 件)
		インフルエンザやその他任意の予防接種(おたふく・みずぼうそう等)の無償化または補助。(他 5 件)
		インフルの注射をした子供に対して市が半分負担してほしい。
		インフルエンザワクチンの無償か子供のみでも安くしてほしい。
		子供のインフルエンザワクチンの費用が補助されれば助かります。
		インフルエンザの予防注射も無償にして頂きたい。毎年流行するので必ず予防注射しないといけないので。2回も。
		インフルエンザ予防接種の助成が子供もあれば助かります。二回打たないといけないですし、医院によって価格が違うので安い所だと予約がとれなかったりします。打たないとおっしゃる方もいらっしゃいます。
		医療費の無償化 (他 5 件)
		18 歳までの医療費の無償化 (他 3 件)
		病気になった時の医療費・予防接種の無料を拡大
		子供の医療費が無償の地域もあるので、門真も無償にしてもらいたい。
		医療費の無償化…月 2 回まで 5 0 0 円というのも安価なようでそうでない。

		医療費も500円ですが、無償化になればとても助かります。
		乳児医療の無償化。(負担額500円を無しにする。以前他府県に住んでましたが0円でした)
		医療費の無償化、待機児童ゼロ、インターナショナルスクール。※再掲
		子供の歯科医療費も支援して下さると、もっと受診しやすくなると思います。
		児童手当、医療費減額の期間を延ばしてほしい。※再掲
		小児科をふやしてほしい。予防接種無償化。
		医療費。休日・夜間の診察。
3	放課後等の児童・生徒への支援について(18件)	学童保育の充実
		学童保育の充実(保育所と同等程度に)
		児童クラブの充実(習い事との連携、おやつの実、広さの確保)
		学童クラブの充実(預かってくれる時間、長期休み時は特に)
		学童保育、子ども専門の医療機関(精神、発達等)、親子で参加出来る催し物やセミナー等の充実。※再掲
		小学校の放課後児童クラブの充実と負担軽減
		放課後児童クラブの費用をひとり親家庭は減額してほしい。
		学童保育の無償化(両親が共働きで遠方まで通勤しているなど条件をつくる)
		小学校の学童クラスの費用を安くしてほしいです。共働きが多くなってきたので、大阪市みたいに年間〇百円で運営するのがむずかしいですか?
		児童クラブの費用を下げてください。
		学童でも母子(一人親世帯)の補助などをしてほしい。
		放課後等、保育を任せられる施設(有料可)
		延長保育の時間拡大。放課後児童クラブの利用時間拡大。※再掲
		小学校において、放課後児童クラブの時間を19時までにして欲しい(一部だけでなく)。なければ、シルバー人材の方の習い事(書道・けん玉・ピアノ等)を学校の近くで出来たらと思う。→茨木の方で取り組んでいるのを聞いたことがある。
		こども園には有料の延長保育があるが、小学校には、働いている人の

		<p>ための学童しかないため、仕事を探している人にとっては、預けられるか不安が残ります。誰でも利用できる学童枠が必要だと思います。</p> <p>門真市北側でもなかよし広場のようないつでも利用できる施設があれば良い。月極め年間契約の学童ではなく幼稚園の預り保育のように必要な時のみ小学校で預かってくれる制度があればありがたい。ファミリーサポートも登録しているがわざわざよそのお宅で預かってもらうのは気がひけるので利用したことがない。(子どもも緊張するだけなので) ※再掲</p> <p>現在、小学校では学級閉鎖が出た場合、対象クラスの子供は児童クラブにも登室できない事になっていて困る。(そもそも保育園には学級閉鎖がありませんが…) 5才までは無償、小学校に入ったら児童クラブは有料なのにおかしいと思いますが…。対象クラスの子は別室等で対応してほしい。</p> <p>夏休みが長すぎてとてもしんどいです。幼稚園すずらんは頑張っていたのですが、小学生が本当に大変です。</p>
4	待機児童対策 (24 件)	<p>待機児童対策 (他 2 件)</p> <p>待機児童の解消 (他 6 件)</p> <p>待機児童をなんとかしてほしいです。</p> <p>もっと保育園を増やして欲しい。定員数を増やして欲しい。</p> <p>門真市はかなり色々な取り組みがされていますね。待機児童の解消が、もっとされれば良いと思います。</p> <p>市では待機児童が 0 人と説明されたが、現実的には何人が待機しているか不明です。ほとんどが門前払いの状態です。</p> <p>医療費の無償化、待機児童ゼロ、インターナショナルスクール。 ※再掲</p> <p>学校給食費の無償化・待機児童対策 ※再掲</p> <p>待機児童への配慮 (特に乳児)</p> <p>時間外保育の実施日を長期休み (夏休み等) まで拡大していただけると仕事がしやすいと思います。そうすれば待機児童の解消につながるのではないかと考えています。 ※再掲</p> <p>待機児童の解消に真剣に取り組んでほしい。上野口園では耐震工事の為に入園制限がされていたが 1 年目はなかなか工事ははじまらず 10 ヶ月程むだな入園制限の期間があった。今現在工事は終了したにもかかわらず 3 ヶ月たっても入園されていない。待機児童の問題を軽く考えているのではないかと思います。</p>

		待機児童になった際に無認可の保育園に入れた時の支援はあって欲しいと思います。
		保育園・こども園の数を増やすこと
		保育園や幼稚園を増やす。
		託児所付きの職場が増えるとか。※再掲
		0歳児でも保育園に入れる。
5	各種保育サービス等について (35件)	病児保育の充実。(他1件)
		病児保育の充実。夜間・休日などの診療(福祉センターの時間は利用しにくい)無償化助かりました。ここ数年でよりよくなってるのでとても感謝しています。
		病児保育の充実。今現在病気の時預け先がない。また以前も定員が5名と少なすぎました。
		病児保育所の充実。数が少なく母親が働く環境がまだまだ整っていないと感じる。
		病児保育の充実(でもこれは勤務先の環境が良く休みがとりやすいのであれば必要ないのですが…)
		病児保育施設の充実や、保育士さんの充実(子育て復職充実) ※再掲
		病中でも預かってくれるところがあるとたすかります。
		病児保育施設をもう少し増やしてほしい。共働きで両親共に正社員の家庭も増えているはずなのでどうしても休めない時などに利用したい。
		病児保育が少ない、料金が高い。
		病児保育事業へ取り組み(施設を増やしてほしい。時間ももう少し長く預かってほしい。)
		一時保育の充実。病児保育の再開、保育時間の拡大。
		親がより就労しやすい環境を作るために病児保育の施設を増やしてほしい。
		病児保育の実施施設の増加。
		病児保育を増やしてほしい。
		病児保育を幼稚園内、又は隣接している場所にほしい。
		病児保育再開して欲しいです。何度も利用して大変お世話になりました。
		病児保育を再開してほしい。利用できる場所又は人数も増やしてほしい

		い。
		病児保育、病後児保育。
		病児保育、病後保育を増やす取り組み。
		仕事をしている母をささえる、病児、病後保育の普及。
		大阪市の学校では行われている学童保育とは違うが、何かあった時にその日だけ子どもを見てもらえるような支援があると嬉しい。
		預かり保育の更なる充実
		夏休みなど長期休暇の時に幼稚園に預けられるのはとても嬉しいし助かりますが料金設定に月極などできるともっと助かります。
		時間外保育の実施日を長期休み（夏休み等）まで拡大していただけると仕事がしやすいと思います。そうすれば待機児童の解消につながるのではないかと考えています。※再掲
		長期のお休みの時にあずかりをふやしてほしい。
		私立幼稚園での長期休み期間の時間外保育、さくら幼稚園はないのでしてもらえると下の子達も通わせやすいなと思います。
		教育上、幼稚園と選択した場合の預かり保育の充実。
		時間外保育の拡張。
		小児科夜間救急医療の受け入れ拡大（娘が夜中にケガをした時、小児科が夜していない為何軒も断られた）
		医療費。休日・夜間の診察。
		幼い時からの乳児教室の支援などあればいいなと思います。
		門真市は無料のイベントや親子教室、病気に対する相談を聞いてもらえる窓口もあり、私はとてもありがたくて去年仕事を始めるまでは色々なイベントに参加し、不安なことも相談させていただいているのでとても良い市だと思っています。ありがとうございます。
		青空教室等の子育て支援をもう少し分散して欲しい。家が遠いとわざわざそこまで行くのにベビーカーで行くと1時間近くかかったりする。健診も市民プラザ等でもやって欲しい。
		市認定の在宅ベビーシッター(病児も含む)
6	幼児教育・保育・療育について (28件)	教育・保育の質の向上を期待します。
		保育内容、保育者の数と質を充実させてほしい。現在、目が届いていないことが多い。
		保育内容の充実、特に保育士の待遇向上、人員確保。※再掲

保育園、保育士の充実。※再掲

保育所でも幼稚園と同じような教育・保育内容を充実してほしい。

保育内容をレベルアップしてほしい。習い事や英語教育等、個別に行かせなくても済むように充実してほしい。

保育園など施設の充実。

先生が子供に怒ったり注意する言葉づかい（言い方も）が気になる。

先生達をもっと増やして負担を減らしてあげて。こども園1号2号と区別されるのが悲しい。※再掲

1号認定も2号認定と平等にしてほしい。

1号でも2号に入れないうまま働いてる人もいます。延長料金等も見直していただきたいです。

市立保育園に通園していますが、絵本の棚があるけれど地域の子育て支援の為にしか貸し出していません。園の子供にも貸し出ししてほしい。保育園の先生の（事務所）人数も増えているのでできるのではないのでしょうか？他市ではされているところもあるときくので仕事していると図書館に行くのも大変なのでぜひやってもらいたいです。あと障害児や診断の事で（我が子も気になるのでアドバイス受けたい）担任の保育士から門真の診断していく方は各クラスごとに見ても細かく見てもらえていない、あまり期待できないと聞きました。寝屋川市や守口市の保育所の方がしっかりされています。きちんと見て細かいアドバイスできる方を派遣してください！！

以上児クラスからの教育を増やして欲しい。（保育所でも）全施設がこども園になればいいと思う。私立は別だけど。（理由）学力低下。小1からの学力にあまり差をなくす為。小学校の教員不足により学力低下リスクあり。最悪いじめにつながるリスクあり。幼児期の時点である程度の教育がされていたら、小学校からの教育にもスムーズについていけると思う。ゆとり廃止！！（理由）将来不安！！※再掲

いろいろな経験をしてもらいたいが、幼稚園、学校共に人数が少ない。幼稚園は私立なので仕方がないが、学校のクラスの少なさを考えてもらいたい。※再掲

延長保育の時間拡大。放課後児童クラブの利用時間拡大。※再掲

幼稚園・保育所を給食にしてもらいたい

障害の方も入りやすい環境にして欲しい。

発達障害の子供達の理解をひろめてほしい。

		療育が各幼稚園で受けられる様になれば良い。
		療育制度の充実。専門家を増やして欲しい。
		障がい児への福祉の充実
		障害をもった子どもの対応も考えてほしい。
		民間療育施設の充実に力を入れてほしいです。
		育休や産休が取りやすい支援、仕事に戻りやすい支援。療育へ行っている子供がいると預け先が少ないので、保育園の時間のような時間帯で療育で預けたい。(仕事に戻れないので) ※再掲
		障害者・障害児への福祉の充実。市内に支援学校が無い分、地域学校の支援をしっかりとって欲しいです。
		支援学級での先生の人数の確保
		保育園、幼稚園のやり方がちがうので何とも言えないが、参観日等がある時に、仕事だったら預かり保育をするが、仕事じゃない場合はつれて帰らなければならないので一律に預かり保育をしてほしい。(たまには両親二人の時間も必要であると思う)
		子どもが楽しみ保育園に行くのが一番。
7	就学後の経済的負担軽減について (12件)	高校・大学無償化
		子供は大きくなるにつれお金もいろいろかかるので、中学生高校生の支援をしていただけると進路のはばもひろがり子も親もたすかります。
		義務教育後の授業料の支援。大学、短大、専門学校が高すぎる。奨学金返済が30才頃まで続くと社会人になった後の本人の生活が大変。結婚も遠のくと思う。
		国立大学等、高学力校への入学の為の返還不要奨学金枠の拡大。低学力私立の遊ぶ為の学校への支援はいらない。将来稼げる人への投資が必要。
		高校の義務教育化
		義務教育が高校もなればいいのと思う。
		高校までの制服や体操服などの無償化。
		20才になるまで無償化を考えてほしい。
		学校給食等の無償化。子供手当などを今の金額の半額にしていいので。
		保育園だけでなく小学校や中学校も義務教育なら無償化にしたら子



		<p>どもも育てやすいしたくさん産もうと思う。</p> <p>幼児教育の無償も有り難いが、もっと大きい子供の学費等の支援を望みます。上の子との年齢（18才以上）が離れていて、一番下の子が第三子なのに第二子扱いになり、子供手当が1万円になったりしないように考えてほしい。（第三子は第三子なのですから）※再掲</p> <p>私立選択家庭への教育費助成の所得制限の撤廃。</p>
8	幼児教育・保育・療育無償化への意見（11件）	<p>0～3歳児もなれば助かります。（他1件）</p> <p>0歳からの無償化も必要に感じる。</p> <p>幼稚園から無償化をもっと早めにしてほしかった。</p> <p>無償化になってもそれ以外の雑費が今のこども園はけっこうするので、それをもう少し安くしていただきたい。</p> <p>無償化といっても1年間先に払うのをやめてほしい。なぜ返ってくるのに先に払うのでしょうか？</p> <p>無償化なのに先にお金を払わなければならないのならば先々は良いが現地点とすれば生活に支障が出てくる。</p> <p>毎月幼稚園代は引き落としされてるので無償化になってることは知らなかった。後で返ってくるのですか？</p> <p>年度末支給では無償化だといいがたい。毎月の支払い負担をしなくても良い方法を考えていただきたい。</p> <p>とにかく小、中学生のトイレ、衛生面をもっときちんと整備してください。人が利用できないほど汚く、子どもが我慢して帰ってきます。病気になったら責任取ってもらえるのでしょうか？幼稚園無償化の前にもっともっとやるのがたくさんあると思います。※再掲</p> <p>無償化うんぬん、1号2号での差が大きい事がとても不満です。1号は給食費も高く、預かりに入れるのもお金がかかり、働いている人だけが優遇される世の中はどうなのでしょう。それならば皆が一律のお金を払い、納得のいく取り組みにして頂きたいです。働いている方ばかり優遇され、自分の手で頑張っている人々は正直損をしていると思います。</p>
9	保育士・幼稚園教諭等の処遇改善等について（13件）	<p>保育士の待遇改善。</p> <p>保育士等への手当</p> <p>保育士への待遇改善。ひいては子どもへの良質な教育につながるのでは？</p> <p>継続して勤務ができるよう保育士の給与、休暇等の待遇を良くしてほしい。子供が信頼している先生ほど辞めてしまう。</p>



		<p>保育内容の充実、特に保育士の待遇向上、人員確保。 ※再掲</p> <p>こども園で働いている保育士さんへの給料を良くしたり、待遇を良くしてもらえたらいいなと思います。利用する子供達がお世話になっている、大変な仕事をがんばってくれている保育士さんが働きやすい環境を門真市が整えて下さったら、子供達にとっても良い環境ができる気がします。</p> <p>色々と子どもたちのため、そしてその家庭のために色々と取り組んでくださりありがとうございます。おかげさまで子どもも楽しく保育園へ通ってます。皆様のおかげではありますが、保育園の先生方のおかげでもあります。ステキな先生方ばかりで、本当感謝の気持ちでいっぱい。先生方の変さも見てわかるし、保育士不足の状況もみてわかります。そちらの取り組みも気になるので、お給料が安いとよくテレビでも言ってますし、もうすこし働きやすくなるようなお給料UPや手当を考えてみてはどうでしょうか？</p> <p>保育園、保育士の充実。 ※再掲</p> <p>病児保育施設の充実や、保育士さんの充実（子育て復職充実） ※再掲</p> <p>先生達をもっと増やして負担を減らしてあげて。こども園1号2号と区別されるのが悲しい。 ※再掲</p> <p>幼稚園、保育園の教員を増加してほしい。</p> <p>保育士、先生の質をより良いものにしてほしい。子供を安心して預けられる先生が少ない。</p> <p>保育士の確保、就学後のフォローを手厚くしてほしい。（介助員の増員など）</p>
10	<p>金銭的支援等について (25件)</p>	<p>子ども手当の増額、延長（他2件）</p> <p>子供手当の充実化、延長化。</p> <p>児童手当、医療費減額の期間を延ばしてほしい。 ※再掲</p> <p>子ども手当の金額を子どもが大きくなるにつれて減額せずずっと同じ額を支給してほしい。</p> <p>子供が多い世帯には手当を増やして支給してほしい。そうなれば出産も考えていきやすいと思います。 ※再掲</p> <p>2か月ごとの支援金の大幅な増額。</p> <p>園で使用する物品。カバンだけでなく、ねんど・ねんどぼん・クレヨンなど1つ1つが高いため。100均でも売っている物も「指定のものを」と言われ、600円、800円と年度ごとに必ず物品でいくらかは取られる。</p>

		<p>低収入世帯には、給食費・用品代等も無料または減額にしてもらえると助かります。</p> <p>オムツなど割引き出来るチケットなど。</p> <p>習い事の補助金制度。(他1件)</p> <p>学習(習い事)に対しての補助金。色々と習わせてあげたいが限界があるため。</p> <p>塾代などの補助があると助かります。</p> <p>教育格差が出ないように子供一人に対し、1万円の塾の補助。</p> <p>子供に習い事、療育をさせられる環境の駐車代の無償化やサービス</p> <p>国からでも市からでも受ける側はどちらでもいいが、子育てをしている家庭にもっと援助すべき。何もかもが高すぎる。</p> <p>子育てコストの軽減。</p> <p>幼児教育の無償も有り難いが、もっと大きい子供の学費等の支援を望みます。上の子との年齢(18才以上)が離れていて、一番下の子が第三子なのに第二子扱いになり、子供手当が1万円になったりしないように考えてほしい。(第三子は第三子なので) ※再掲</p> <p>2世帯同居に補助金を出すなど、核家族化の解消を行う。子育ては周囲の人の手助けなく親だけですべてできるものではないから。</p> <p>私立幼稚園の奨励金を頂いていますが『小学1～3年の兄弟姉妹がいるか』というこの文言が惜しいとずっと思っています。せめて『小学生(1～6年)の～』や願わくば『小学生～中 or 高校生の兄弟姉妹がいるか』と対象年齢を上げて欲しかったです。上にも子どもがいるということを見て欲しい。特に年齢が上の子どもの方がよりお金がかかるから…。</p> <p>子供を育てやすい経済的もそうだし環境に対しての取り組み。</p> <p>所得制限なく誰もが支援を受けられる様にしないと貧困層の集まりとなる悪循環だと思う。</p> <p>無償化ありとあらゆる子どもの手当への所得制限を無くしてほしい。高所得でも子どもへの手当は平等に受けたいです。</p>
11	<p>子どもの遊び場等について(33件)</p>	<p>公園など遊び場の充実。</p> <p>公園の充実を願います。公園が広がっていない気がする。</p> <p>近い所に大きい公園がないので、のびのびと遊べる公園を作ってほしい。</p> <p>公園が少ないので増やしてほしい。</p>

子供が遊べる公園が門真市は少ないと思います。近くに遊ばせる場がないのでそのような環境も作ってほしいと思います。

6年前に市外から転入してきたが、公園（子供が遊べる所）が少なく感じました。あっても小さかったり少ないがゆえにたくさん大きい子供が集まって小さな子には遊びにくいと感じる事もあり大きめの公園、小学生も走り回れる、ボール遊びもできる場所が近くにあってもいいなあとは思っています。（北巢本小学校校区在住）

公園や子供が安全に遊べる場所の確保、整備など。

子供が安心して遊べる公園の整備と数の充実。子育て支援の地域差をなくす。子育て世帯が生活しやすい環境づくり。※再掲

スポーツや公園など子供が体を動かせる場所がもっとあればいいと思う。

子どもがボールで遊べたりおもいっきり体をうごかせる場所の確保。

体を動かして遊べる施設を作って欲しい。（無料もしくは安価で）

公園でボール遊びや大声を出すことを禁止されているため十分な遊び場所が近くにない。安全で十分な広さのある遊び場が欲しいです。自転車の練習場所も含む。

もう少し公園の充実や整備をして欲しいです。（トイレ等）

公園などの整備、不審者対策。※再掲

安心して外で遊べる道路の整備、公園の改善。※再掲

公園、ならびに遊具の充実。

公園の遊具の見直し。

公園はたくさんあるが、似たような遊具ばかりなのでもう少しバリエーションを増やしてほしい。

公園や室内遊戯場の充実。

図書館やプレイルームのある施設があればいいなあ～

図書館や文化ホール等の設備の充実。

無料や安く利用できる地域の室内遊び場が欲しい。

子どもが安心して遊べる場所。できれば天候を問わない室内。

子供の遊び場、コミュニティー形成の場を作ること（南部プラザはあるが、北部にそのような場がないので）

子供の遊び場（室内）を増やしてほしい。

		雨の日、室内で遊べる施設があれば良いと思います。
		子供が安全に遊べる施設を充実させて欲しい。
		子どもたちが遊べる施設
		遊び場の改善や道幅を広くして欲しい。 ※再掲
		雨天時など屋内で遊べる施設を増やしてほしい。
		子供の遊び場の充実。公園が狭い、ボールあそび禁止が多い。花火ができない。保育園のイベントがもちつき・いもほりがなかった。夏祭りにおみこしかつぎがなかった。育児で大変なのは、家事（洗濯・炊事・掃除 等）4・5才になると出来ることも増えるので保育園等で自ら家事を手伝う、もしくは出来る子になってくれると助かる。シングルな人が多い中、母親が指導できれば、忙しくて教えるより自分でして疲れてゆくことが多い。親がなんでもしてくれると思う子になると、社会にでてからの貢献度が低いと思う。これからの親子関係が依存的にならない為に必要と思う。学力は必要ですが、自ら生きる力が無いと社会に出れない、親になって子供を育てようという若者が育たないと思う。 ※再掲
		門真市北側でもなかよし広場のようないつでも利用できる施設があれば良い。月極め年間契約の学童ではなく幼稚園の預り保育のように必要な時のみ小学校で預かってくれる制度があればありがたい。ファミリーサポートも登録しているがわざわざよそのお家で預かってもらうのは気がひけるので利用したことがない。（子どもも緊張するだけなので） ※再掲
		大阪市城東区で行っているような土日も親子がつどえるような安心できる場所が欲しい（市民プラザ・なかよし広場は土曜日も休館・・・）
12	安全・安心なまちづくりについて (25件)	防犯の充実。
		子育てしやすいためにも防犯にも力を入れてほしい。
		安全対策の充実。
		犯罪や事件のないまちづくり
		不審者情報が多い為公園、暗い道の防犯対策、監視カメラや街灯等の充実。
		不審者情報が多く治安も悪いので子供たちが安心して遊べるような環境を整えていただきたいです。
		犯罪などに巻き込まれないための安心安全な町づくりと、子どもたちへの防犯対策・性犯罪に対する取り組みは手薄だと感じます。

		子供たちが安心して育っていく環境
		子供が安心して遊べる場所を作ってほしい。
		子どもにとって安心で安全なまちづくり。
		通学路で交通事故や不審者が多発しているので治安を良くしてほしい。
		安全・安心して暮らせる街づくり（事故・事件軽減・撲滅）
		防犯や子供の見守り等。子供及び地域を含めた安全対策、あんまちメール等で不審者情報が多く恐怖感があるため。
		治安の改善（防犯カメラ等）。通学路に歩道をつくる。
		歩道の確保。
		安全な通学路の確保・安全な公園や遊び場の充実。
		遊び場の改善や道幅を広くして欲しい。※再掲
		小学校中学校への通学路の整備を行なって欲しい。工場が多く大型トラックも多く走る門真市のネガティブなポイントをきっちりカバーしないと門真市での“安心して子育てできる環境”は程遠いと感じます。（例、歩道を作りガードレールを設置するなど。）当方、二島小校区ですが通わせる事にすごく不安です。
		安心して外で遊べる道路の整備、公園の改善。※再掲
		学校へ行く道の歩道が狭いので歩道をもう少し広くしてほしい。
		歩道が狭いのでベビーカーで歩くのが大変に感じることもある。自転車、車の危険運転が多いので子供だけで行動させることを不安に思う。
		公園などの整備、不審者対策。※再掲
		道が狭い、道路と歩くスペースの幅がせまい。バスの本数が少なく、自転車で動かざるをえない。→年取ったときに不安。緑が少ない→かげがない。
		災害に強く住みやすいまちづくりの推進。
		災害時の安全確保（昨年地震で小学校児童は古い体育館で集合した後、校舎に戻り、窓ガラスのすぐ側で親の迎えを待ちました。非常にキケンだと思います。）
13	子育てと仕事の両立支援について	教育者数を増員し保育時間を就労者（保護者）で決めさせてほしい。仕事休みならば保育できない等の決まり事が不便です。
		託児所付きの職場が増えるとか。※再掲

	(7件)	<p>母親と子どもが一緒に働ける環境（子連れOKの職場）</p> <p>女性が職場復帰できる・しやすい環境の体制づくり。</p> <p>いくら幼児教育等が無償化されても、母親・父親が働きやすい仕事場が設けなければ子供がさらに持ちたいだと言う考えにはならない。子供を持つ（特に小さい子）を今現在持っている人は働きにくさを感じている人が多いと思う。金銭面も大切な事だとは思いますが、親の働き方をもっと考えるべきだと思う。</p> <p>子どもの出生時における父親の休暇の取得の促進</p> <p>育休や産休が取りやすい支援、仕事に戻りやすい支援。療育へ行っている子供がいると預け先が少ないので、保育園の時間のような時間帯で療育で預けたい。（仕事に戻れないので）※再掲</p>
14	出産への支援について (10件)	<p>妊婦の病院受診の無償化又は手当等での充実。（他1件）</p> <p>出産費用無償化。</p> <p>妊婦の検診無償化。</p> <p>子どもを望む世帯、妊婦さん（就業中）への助成、手助けになる策。</p> <p>妊婦に対しての医療費免除。</p> <p>子供が多い世帯には手当を増やして支給して欲しい。そうなれば出産も考えていきやすいと思います。※再掲</p> <p>出産時の特別一時金。</p> <p>2人目・3人目以降、出産時に一時金の支給があれば人口が増えると思う。</p> <p>帝王切開では保健が適用されるのに自然分娩では全て自費（42万円返金あるが足りないし、帝王切開は保健きくプラス42万もらえる）納得できない。</p>
15	その他（36件）	<p>少子化対策。</p> <p>子供の遊び場の充実。公園が狭い、ボールあそび禁止が多い。花火ができない。保育園のイベントがもちつき・いもほりがなかった。夏祭りにおみこしかつぎがなかった。育児で大変なのは、家事（洗濯・炊事・掃除等）4・5才になると出来ることも増えるので保育園等で自ら家事を手伝う、もしくは出来る子になってくれると助かる。シングルな人が多い中、母親が指導できれば、忙しくて教えるより自分で疲れてゆくことが多い。親がなんでもしてくれると思う子になると、社会にでてからの貢献度が低いと思う。これからの親子関係が依存的にならない為に必要と思う。学力は必要ですが、自ら生きる力が</p>



ないと社会に出れない、親になって子供を育てようという若者が育たないと思う。※再掲

食べるトレーニングキッズアカデミー協会代表理事ギール里映さんによる、食べ物が子どもの能力に及ぼす影響についての講演会。とにかく明るい性教育パンツの教室協会代表のじまなみさんによる、幼少期からの性教育の必要性についての講演会。体験型安全教育支援機構代表理事清永奈穂さんによる、体験型防犯講座。

習い事、学校、家族などの連けいをもっととれる様にして欲しい。

兄弟数が多い家の人には園の許可を得て車で送迎が出来る様、各園に駐車場を増やして欲しい。子ども3人以上を自転車での送迎は大変だが、近くの駐車場を借りたり、パーキングを毎日利用する程金銭的に余裕もない。

体操服はともかく制服をやめて私服登園にしてほしい。

表面化しづらい虐待、子どものケア、親のサポート指導。

医療費の無償化、待機児童ゼロ、インターナショナルスクール。※再掲

一番お金がかかるのは高校生、大学生なのでその支援が充実したらもう1人産みたいと思う。が、現状で充分だと思う。(税金もつたいない)収入によって支援の金額を変えるのは反対!! お金が無いのはその人のそれまでの生き方のせい。お金持ちはそれまでの努力があると思う。うちはお金なくて2人目考えられないけど、それでいいと思う。もっと無い人は(自分でお金出せず税金にたよる人) 子ども持つ資格無いと思う。

就学後の教育環境向上に期待したい。また、子育てサロンの充実など、気軽に立ち寄れる場があれば良いと思います。以前に住んでいた東淀川区にはそういった場所があり、サロンの運営者の方を介して色々な方々と交流出来ました。

仕事をしながら、習い事に通わせる事がなかなか困難なので、その辺がどうにかなればと思う。

文化・教養を身につける取り組み

親教育。本当に必要とされる家庭への支援をお願いしたい。無償化により子育てが十分にできない親がより増加すると思う。

働く母が保育園に子供を預けられるか(入園できるか) 心配しなくていい方法がなにかあったらいいと思います。「保育園に入園できない＝妊娠できない」です。保育料の問題ではない気がします。

近隣の市に比べ、教育施設が少なすぎる。高校の数、大学など。教育の必要な年頃になると他市へ逃げる人が多い。マンション買った人も

出て行ってる。門真は支援学校もないと言ってた。子育て世代が門真に残りたくならないのが問題。

夏休み・冬休み等長期休暇期間の小学校の学童の時間の拡張（フルタイム勤務にはキツイ）シングルマザー等せっかく子どもが産まれたのに不幸な結果にならないよう、不遇な状況におかれてる子持ちへの支援（子の殺害、虐待。捨て子等）上記に付随し、親とはなれて暮らす子等への手厚い支援

支援学校を作ってほしい。教員を増やしてほしい。

地域活動での子どもの参加が増えたらうれしい。地域のお祭りに園も参加したり、老人施設が参加したり。

子供が多いと優遇、免除してもらえらる事があるとありがたいです。

子育て支援センターや保育園の園庭開放等で費用をかけず手作りで子供たちが楽しめる取り組みがたくさんされているが、門真市内在住でも知らない方がたくさんいます。もっとたくさんの方が知れるようにインターネット等も活用すれば良いと思います。子育て世代にはとてもありがたい取り組みがあるのでアピールするべきだと思います。

習い事ができる様になり他の幼稚園や保育園のお友達ができる。

認定こども園、働いてるお母さんは優遇されすぎ。子供が幼稚園が大好きで預かり保育に行ってるが結構料金がかかる。幼稚園とは違うが小学校の児童クラブも母親が仕事してなくても料金を払えば入れる環境にして欲しい。

子連れでも気兼ねなく入れる飲食店を増やして欲しい。（プレイルーム等の併設あり）

保育中に習い事ができる送迎の支援又は園内での習い事。ピアノやスイミング、学習塾その他日本や門真の芸能文化の習い事。どうしても家だと土日に集中してしまうので保育中の午後に入れてもらえたらと思う。

家族で出かける機会が増える交通機関や市の施設の無料化など。

学童保育、子ども専門の医療機関（精神、発達等）、親子で参加出来る催し物やセミナー等の充実。※再掲

児童発達支援センターや肢体不自由や発達障がいのある子供が通う中学や高校をつくっていただきたいです。門真から交野や寝屋川、守口へ通うのは遠いし不便、門真にもそういう学校を早急につくってほしいです。

子供が安心して遊べる公園の整備と数の充実。子育て支援の地域差をなくす。子育て世帯が生活しやすい環境づくり。※再掲



今は年金取得者や老人の方がお金の給付など多いが、幼稚園だけでなく小学生等も無償化にするべき。日本は税金など支払う方は多いが、収入に繋がるものや生活していく中でプラスになるものが少ない。

市民税を安くしてほしい。教育無償化の年収の上限を撤廃してほしい。年収があるといっても、教育費に余裕があるわけではない。子どもは産みたいけれど、教育しなければ意味はないと思っています。高校の無償化も私立他府県に通学している者にも適用してほしい。生活保護世帯にばかり無償化の恩恵を与えないでほしい。納税（しかも多額）している世帯の子育てにも恩恵がほしい。今のままで納税額が多い世帯が、とられっぱなしの感じが否めない。

世帯主の給料を上げて欲しい。

税金の減額

税金を安くする事が一番だと思う。税金をとってそれを子育てに振り分ければ見た目には、何か対策を取って子供達の為にしている様に見えるだけ。

がんばってくれてると思います！！

特にありません。逆に子育て支援をよくやって下さっているといつも感じます！！ありがとうございました！！がんばって下さい。

無償化がとにかくありがたいことなのでその他は特に今のところ無いです。

## V 調査票

(ホッチキス止め)

### 4・5歳児の幼児教育・保育・療育の無償化に関するアンケート調査

門真市では、保護者の負担を軽減し、すべての就学前の児童が等しく質の高い幼児教育・保育・療育を受けることができる環境を整え、円滑に小学校教育（義務教育）につなげることを目的に、平成29年度から5歳児の幼児教育・保育・療育の利用者負担（保育料）の無償化を開始し、平成30年度から対象年齢を4歳児へと拡充いたしました。

この取り組みについて、利用者の皆様のご意見、ご感想をうかがい、今後の施策に活用するため、アンケート調査を実施することとなりましたので、ご協力をお願いいたします。

#### 【4・5歳児の幼児教育・保育・療育の無償化の実施方法】

利用される施設ごとの無償化の実施方法は次のとおりです。

1号認定利用者負担額  
(幼稚園・認定こども園)

世帯の所得等に関係なく、利用者負担額を無料

2号認定利用者負担額  
(保育所・認定こども園)

世帯の所得等に関係なく、利用者負担額を無料

私立幼稚園保育料  
(新制度に移行していない幼稚園)

世帯の所得等に関係なく、30万8千円(国基準上限額)を上限に、支払った保育料等に対して就園奨励費を補助

児童発達支援施設・事業利用料

世帯の所得等に関係なく、利用者負担相当額を給付金として支給  
※こども発達支援センターは利用者負担額を免除

※ 新制度に移行していない私立幼稚園をご利用されている方への就園奨励費補助金は、ご利用の幼稚園を通じて、平成31年3月ごろに交付されます。

提出期限：平成31年1月28日（月）まで

提出先：お子様ご利用の園（施設）

#### 【問い合わせ先】

門真市こども部保育幼稚園課  
電話：06-6902-6757（直通）

無償化の対象となっているお子様のクラスに○をつけてください。

4歳児クラス（年中） ・ 5歳児クラス（年長）

下記設問について、ご記入または○をつけてご回答をお願いします。

Q 1. 無償化の対象となっているお子様の利用している施設・事業所をお選びください。

- |                |                  |
|----------------|------------------|
| 1. 市立幼稚園       | 2. 私立幼稚園         |
| 3. 市立・私立保育所    | 4. 市立・私立認定こども園   |
| 5. こども発達支援センター | 6. 民間児童発達支援施設・事業 |

Q 2. 無償化の対象となっているお子様から見た家族構成（同居者）について、当てはまるものを全てお選びください。

- |               |                     |
|---------------|---------------------|
| 1. 父（単身赴任を含む） | 2. 母（単身赴任を含む）       |
| 3. 兄弟・姉妹      | 4. 祖父・祖母            |
| 5. おじ・おば      | 6. その他（具体的に）<br>（ ） |

Q 3. 保護者（父・母）の年齢をお選びください。

※ひとり親の場合はいずれか。父母以外の場合は「その他」でお選びください。

父（ 10～20代 ・ 30代 ・ 40代 ・ 50代以上 ）  
母（ 10～20代 ・ 30代 ・ 40代 ・ 50代以上 ）  
その他（ 10～20代 ・ 30代 ・ 40代 ・ 50代以上 ）

Q 4. すべてのお子様の年齢・人数について、お答えください。（同一世帯。別居を含む）

※平成30年4月1日時点

0歳（ ）人 ・ 1歳（ ）人 ・ 2歳（ ）人  
3歳（ ）人 ・ 4歳（ ）人 ・ 5歳（ ）人  
小学1～3年（ ）人 ・ 小学4～6年（ ）人  
中学生以上～（ ）人

Q 5. 世帯の年収（平成29年中）について、お選びください。

※父母の年収の合算。配偶者控除があれば扶養している父または母のみ。父母の年収の合算が206万円未満で、同居する祖父または祖母のいずれかの年収が300万円以上であれば、多い方の年収。ひとり親の場合は、その年収。ひとり親の年収が103万円未満で、同居する祖父または祖母のいずれかの年収が300万円以上であれば、多い方の年収。

- |              |               |
|--------------|---------------|
| 1. 生活保護受給世帯  | 2. 市町村民税非課税世帯 |
| 2. 300万円以下   | 4. 301～400万円  |
| 5. 401～500万円 | 6. 501～600万円  |
| 7. 601～800万円 | 8. 801万円以上    |

Q 6. 無償化によって、生活に影響がありましたか。当てはまるものをお選びください。(複数回答可)

1. 子育ての費用や教育費を充実することができた
  2. 生活費にゆとりができた
  3. 外食・レジャー等の機会が増えた
  4. ローンの返済へあてた
  5. 貯蓄が増えた
  6. 特に影響はなかった
  7. その他
- ( )

Q 7. 無償化によって、子どもをさらに持ちたいと考えるきっかけとなりましたか。

1. なった
2. 少しなった
3. ならなかった

※3を選んだ方は何歳からの無償化できっかけとなると考えますか。

- a. 0歳～
- b. 1歳～
- c. 2歳～
- d. 3歳～
- e. 4歳～
- f. 幼児教育等の無償化はきっかけとならない

Q 8. 無償化によって、門真市に住み続けたいと考えるきっかけとなりましたか。

1. なった
2. 少しなった
3. ならなかった

※3を選んだ方は何歳からの無償化できっかけとなると考えますか。

- a. 0歳～
- b. 1歳～
- c. 2歳～
- d. 3歳～
- e. 4歳～
- f. 幼児教育等の無償化はきっかけとならない

Q 9. 現在、国では幼児教育等の無償化を3歳児以上及び住民税非課税世帯の3歳児未満を対象として、2019年10月から実施するスケジュールが示されていますが、門真市が先行して進めている無償化に対するあなたの考えとして、一番近いものをお選びください。

1. 国より先に市が無償化を実施するのは良い取り組みだ
2. 無償化には賛成だが、国より先に実施する必要はない
3. 無償化には賛成だが、同時に待機児童対策や教育・保育内容等の充実を行うべきだ
4. 無償化よりも優先すべき施策があるため、無償化には反対だ

※4を選んだ方は具体的な内容をお選びください。(複数回答可)

- a. 待機児童の解消
- b. 教育・保育・療育内容の充実
- c. 小・中学生の学力の向上
- d. 高齢者・障がい者を支える福祉政策の充実
- e. 災害に強く、住みやすいまちづくりの推進
- f. 産業の振興
- g. 文化・スポーツの振興
- h. その他

( )

Q10. 無償化以外で期待される子育て支援の取り組みがあれば、ご記入ください。

( )

ご協力ありがとうございました

